漢字用例

禁止轉用刊

漢字用例

例言

一　本書ハ重ニ同訓異義ノ漢字ニツキテ其用法ノ一斑ヲ示スモノナリ。然レドモ訓ヲ以テ讀マズ、音ヲ以テ讀ムモノ、如キモ、其意義ノ類似スルモノハ之ヲ收メタリ。例ヘバ「ころす」ノ中ニ「誅（チュウ）す」「戮（リク）す」「弑（シイ）す」ヲ加フルガ如シ。

一　本書中ノ漢字ハ重ニ本義ニ依リテ說明ス。其例

ハ普通ニ使用スル熟語及ビ名句ヲ引用セリ。然レドモ轉用セル語義モ之ヲ添加セルモノ多シ。

例ヘバ「洗ふ」ノ下ニ「洗心」ヲ加フルガ如シ。

本書ハ捜索ニ便ナラシメンガ爲メ、凡テ五十音ノ順序ニ依リテ排列セリ。

本書ヲ編纂スルニ就キ參考セシ書籍ノ主ナルモノ左ノ如シ。

操觚字訣　伊藤東涯著

譯文筌蹄　荻生徂徠著

助語審象　三宅橘園著
譯文須知　松本愚山著
虛字解　皆川淇園著
康熙字典
助字鵠　河北景槇著
文語解　宇野明霞著
助辭譯通　岡白駒著
字彙

漢字用例目次

あノ部

あ　嗚呼、噫……一
あが　なふ　購、贖……一
あぐ（あがる）　揚、擧、昂……二
あた　しかし（あたゝむ）
暖、溫、煖……二
あたる（あつ）　當、中、方……三
あつむ（あつまる）　集、纂、輯、聚、萃……三
あと　跡、迹、蹟、痕、軌……四
あはれむ　憐、憫……五
あふ（あはす）　合、遇、會、逢、遭……五
あへて　敢、肯……六
あまねし　普、周、遍……六
あやうし（あやぶむ）　危、

あ
あや殆……七
あやまり（あやまち、あや
まる）誤、謬、過……七
あらたむ（あらたまる）
改、悛、革、更……八
あらはる（あらはす）顯、
著、彰、見、現、表……八
あらふ（すゝぐ）洗、濯……九
あり有、在……一〇
い ノ部
いかる怒、恚、慍、忿……一〇
いこふ（やすむ）息、憩、休……一一
いさむ諫、諷……一一
いだく抱、懷、擁……一二
いたむ悼、痛、慘、疼、傷……一三
いたる至、到、詣……一三
いつはり（いつはる）僞、
詐、詭……一四
いぬ寢、寐……一四
いはふ祝、賀……一五
いふ曰、云、言、謂……一五
いましむ（いましめ）戒、

う
うつ誠、警、箴……一六
うつやし（いやしむ）卑、賤、鄙、陋……一七
うノ部
うる得、獲……一八
うかがふ伺、窺……一八
うるはしく受、承、享、饗、享……一八
うるはふ（うるはし）美、麗、妍、艶……一八
うるほす（うるほひ）潤、霑……一八
うれふ（うれひ）憂、患、愁……二四
うつす（うつる）移、遷、徙、寫、摹、描……二六
うばふ奪、簒、褫……二七
うらむ怨、恨、憾……二八
うるはし美、麗、妍、艶……二八
うるはふ（うるはし）濕、潤、霑……二三
えノ部
えらぶ選、撰、擇……二五
おノ部

おくる　送、贈……二五
おこたる　怠、惰、懈……二六
おこる（おこす）興、起……二六
おごる　奢、驕、傲……二七
おす　押、推、壓……二七
おそる（おそれ）恐、畏、懼……二八
おつ（おとす）落、隕、墮、墜……二八
おどろく（おどろかす）驚、愕、駭……二九
おふ　追、逐……二九
おほふ　覆、蓋、蔽、掩……三〇
おぼむね　概、率……三〇
おもふ　思、想、懐、惟、顧……三一
おもむく　赴、趨、趣……三一

かノ部

かうばし（かぐはし）香、馨、芳……三三
かゝぐ　掲、褰……三三
かゞやく（かゞやかす）灼、耀、曜、煥、煌……三三
かく（かゝる）掛、懸、係……三四
かくる（かくす）隠、匿、匿……三四

かたし（かたむ）堅、固、硬……三五
かつ　勝、克、捷……三五
かなしむ　悲、哀……三六
かなふ　適、稱、協……三六
かはる（かふ）變、代、易、更、替、換……三六
かへりみる　顧、省、眄……三八
かへる（かへす）歸、還、廻、きる……三八
かんがふ　考、按……三九
かわく（かわかす）乾、燥……三九

きノ部
きく（きこゆ）　聽、聞……四〇
きず　創、疵、傷、瑕……四〇
きはむ（きはまる）　窮……四一
きよし（きよむ）　清、淨、潔……四一
きる　切、斬、伐、翦……四二

くノ部
くだく　碎、摧……四二
くつがへる（くつがへす）　覆、顚……四三

く
くづる　崩、壞、頽……四三
くばる　配、賦……四四
くむ　汲、酌、掬、斟……四四
くらふ（くふ）　食、喫……四五
くるしむ（くるし）　苦、困……四五

け ノ部

けがる（けがす）　汚、瀆……四六

こ ノ部

こたふ　答、對、應……四六
ことごとく　盡、悉……四七
ことに（ことなり）　殊、特、異……四七
こひねがふ　希、冀、尚、庶幾……四八
こふ　請、乞……四八
こゆ（こす）　越、踰、超……四九
これ（この）　此、是、斯、之、維……四九

ころす　殺、誅、戮、弑……五〇

さ ノ部

さかふ　逆、忤……五一
さかんなり　盛、壯、昌、隆、熾……五一

さく　裂、割、劈、剖……五三
さぐる（さがす）　探、捜……五三
さしはさむ　挟、挿……五三
さだむ　定、奠、決……五四
さとる（さとす）　覺、悟、暁、喩……五四
さまむ（さまよす）　覺、醒、寤……五五
さる　去、違、距……五五
さわぐ（さわがす）　騒、躁、噪、譟……五六

しきりに　頻、連、切……五六
したがふ　従、随、循、遵、率、順……五七
したふ　慕、欽、戀……五八
しづか　靜、閑、徐、舒、寂……五九
しばらく　暫、姑、且……六〇
しりぞく　退、却、斥、黜、擯……六〇
しる　知、識……六一
しるす　記、誌、識、錄……六一

すくなし　少、寡、鮮、尠……六三

すくふ　救、濟、援……六三
すゝむ　勧、進、薦、羞……六三
すつ（すたる）　捨、棄、撒、廢……六四
すでに　既、已……六五
すなはち　則、卽、乃、廼、輒、便……六五
すべて　都、渾、總、凡……六六
すみやか　速、急……六七
すむ　住、棲……六七

せノ部

せまし　狹、隘、褊……六八
せまる　逼、薄、迫……六八
せむ　攻、責、譴、讓、數……六九

そノ部

そこなふ　害、傷、損、賊……七〇
そしる　誹、謗、譏、罵、毀、短……七一
そゝぐ　注、濺、洒、沃、灌、溉……七二
そなふ　備、供、具、饌……七三
そばだつ　敧、峙、側……七三
そふ　添、副、貳、傍……七三
そむく　背、叛、乖……七四
それ（その）　夫、其、厥……七五

質……八一

た ノ部

たがひに　互、遞、迭……七五
たがふ　差、違……七六
たくはふ　貯、蓄、儲……七六
たけなは　酣、闌……七七
たすく　助、援、祐、佐、輔、
　贊、喩、例……七七
たすけ　扶、資……七七
ただ　唯、惟、但、只、徒、啻　七八
たたかふ　戰、鬪……八〇
たたく　叩、敲……八〇
ただす　正、訂、糺、匡、規、
　質……八一
たちまち　忽、倏、乍……八二
たつ　立、起、建……八二
たづぬ　尋、原、討、跡……八三
たとへ（たとへば）　假令、
　譬、喩、例……八四
たのしむ　樂、娯、嬉……八四
たのむ　賴、恃、負……八五
たふ　堪、耐、任、勝……八六
たふとし（たふとぶ）　尊、
　貴、尚、崇……八六

たふる（たふす）倒、斃、仆……八七
たまたま〳〵偶、會、適……八八
ちの部
ちかふ誓、盟、矢……八九
つの部
つかさどる掌、司、典……八九
つかふ使、事、仕……九〇
つかる疲、羸……九〇
つたなく突、衝、撞、擣……九一
つぐ就、附、卽……九一
つぐ繼、續、嗣、次……九二
つくす盡、竭、殫、悴、悉、殲……九三
つくる作、造、製……九四
つゝしむ愼、謹、敬、欽……九四
つとむ勤、務、勉、努、力……九五
つね常、恆、每……九六
つひに遂、終、竟、卒……九六
つぶさに具、備……九七
つまびらか詳、審……九八
つらなる（つらぬ）連、聯、列……九八

とがむ　咎ノ部　尤、咎……九九
ときに　時、秋、辰、期……九九
ところ　所、處……一〇〇
とづ（とざす）閉、闔、緘、封一〇〇
とゝのふ　調、整、齊……一〇一
とゞむ（とゞまる）止、留、停……一〇二
とふ　問、訪、訊……一〇三
とほる（とほす）通、徹、透、洞……一〇三
ともに　與、共、俱、偕……一〇三
とる　取、採、攬、操、執……一〇四
な ノ部
ながし　長、永……一〇五
なかれ　勿、毋、莫……一〇六
なく　鳴、啼、泣、哭、唧……一〇六
なげうつ　抛、擲……一〇七
なげく　慨、嘆、嗟……一〇八
なす（なる）爲、成、就……一〇八
なは　猶、尚……一〇九
なやむ　惱、艱……一〇九

漢字用例目次　と　な

つく　就、附、即……九一
聯、列……九八

なす　習、肄、倣……一一〇
ならふ　習、肄、倣……一一〇
なる（ならす）馴、狎、褻、慣……一一〇
にノ部
にぐ　北、脱、亡、逃、遁……一一二
にくむ　悪、憎……一一三
になふ　荷、擔……一一三
にはかに　卒、暴、遽、俄……一一三
ぬ　似、省……一一四
ぬく　抜、抽、挺……一一四
ぬす　盗、偸、窃、竊……一一五
ぬすむ　盗、偸、窃、竊……一一五
ねノ部
ねたむ　妒、嫉、娼、妬……一一六
ねむる　眠、睡、瞑……一一六
のノ部
のこす（のこる）遺、貽、殘……一一七
のぞむ　臨、莅、望……一一七
のばす（のぶ）伸、延、舒、展……一一八
のぶ　述、宣、陳、演……一一九
のぼる（のぼす）登、昇、升、陞、騰、上……一二〇

のむ（のます）飲、呑……一三〇
のる（のす）乗、騎、駕……一三二

はノ部

はかる計、謀、量、測、度、圖……一三三
はく吐、噴、嘔……一三五
はじめ（はじむ）始、初、首、創……一三四
はしる（わしる）走、奔、趨……一三四
はづ（はぢ）恥、辱、愧、慙、報、怍……一三五
はなはだ甚、酷……一三六
はやし早、夙、捷、速……一三六
はらふ掃、拂、攘……一三七
はるか遙、遐、遼……一三七

ひノ部

ひきゐる率、帥……一三八
ひく引、曳、牽、挽、援、延……一三九
ひくし低、卑……一三〇
ひそかに竊、私、陰、潜……一三〇
ひとし均、等、齊……一三一
ひとへに單、偏……一三二
ひま隙、間、曇……一三三

ひ
ひろし（ひろむ）廣、博、弘、汎、寛、闊……一三三
ふノ部
ふくむ　含、銜……一三四
ふす　臥、伏、俯……一三四
ふせぐ　防、禦、拒……一三四
ふむ　蹈、踏、履、踐……一三五
ふるふ　揮、振、奮……一三六
へノ部
へだつ　隔、阻……一三六
へつらふ　諂、諛、佞……一三七
ほノ部
ほこる　誇、矜……一三七
ほしいまゝに　恣、擅、放、縦、肆……一三八
ほとんど　殆、幾……一三九
ほとり　邊、畔、側、瀕……一三九
ほゞ　略、粗……一四〇
ほむ　褒、譽、賞……一四〇
ほろぶ（ほろぼす）亡、滅……一四一
まうす　申、白、啓、奏、稟……一四一

まこと（まことに）眞、誠、信、實……一四一
まさに　正、當、將、方……一四三
ますます　益、增、滋……一四四
また　又、亦、復……一四四
まつ　待、俟……一四五
まつたし　全、完……一四五
まつる　祭、祀……一四六
まもる　守、護、衛……一四六
まれ　稀、罕……一四七
みノ部
みだりに　妄、猥、濫……一四七
みち　道、路、途……一四八
みつ　滿、盈、充、實……一四九
みづから　自、躬、親……一五〇
みな　皆、咸……一五〇
みる　見、視、看、觀、覽……一五一
むノ部
むかふ　向、迎、邀……一五三
むくゆ　報、酬……一五三
むすぶ　結、締……一五三
むなし　空、虛、曠……一五三

め　ノ部
めぐる（めぐらす）　巡、繞、旋、周、環……一五四
も　ノ部
もつとも　最、尤……一五五
もと　本、元、原、素、固……一五五
もとむ　求、索、需、要……一五六
もとる　戻、悖、愎、狠……一五七
もの　者、物……一五八
や　ノ部
やしなふ　養、牧、畜、育……一五八
やすし　安、易、寧、康、泰……一五九
やどる　宿、舎……一六〇
やはらぐ（やはらか）　和、柔……一六〇
やぶる　破、敗……一六一
やまひ　疾、病、疫、痼……一六二
やゝ　稍、較……一六三
ゆ　ノ部
ゆく　行、往、逝……一六三
ゆづる　譲、禅……一六三
ゆるし（ゆるやか）　緩、寛……一六四

ゆるす　赦、許、允、免、宥……一六四
よノ部
よ　世、代……一六五
よく　能、克、善……一六六
よし　善、好、佳、良……一六七
よぶ　呼、喚……一六七
よる　因、由、據、依、賴、憑……一六八
よろこぶ　喜、悦、怡、欣、歡……一六九
わノ部
わかる（わかつ）分、別、訣……一七〇
わく　涌、沸……一七一
わざはひ　禍、殃、災……一七一
わすれる　忘、遺……一七三
わたる　渡、濟、亙、涉、彌……一七三
わづかに　僅、纔……一七三
わらふ　笑、哂、嗤、喘……一七四
われ　我、吾、予、余、朕……一七四
をノ部
をかす（おかす）犯、侵、冒……一七五
をさむ（をさまる）治、修、理、收、納……一七六
をしふ　教、訓、誨……一七六

をしむ　吝、嗇、惜……一七七
をはる（をふ）　終、了、畢、……一七七
をる　居、處……一七八
をる　折、拉、拗……一七九

附錄

物數稱呼例……一一
類字例……一二
古字例……一三
俗字例……一三
略字例……一三
普通漢字表……一三
普通用語表……四一

漢字用例目次　終

漢字用例

あ ノ 部

あ、
嗚呼　嘆美哀傷悲恨ヲ表スル感歎詞ナリ。○嗚呼盛ナル哉
噫　哀傷痛恨ヲ表スル感歎詞ナリ。○噫、斗筲之人、何ソ足ラン算フルニ乎
あがなふ　金錢ニテ買ヒ取ルコト。○購求ノ購ニ千金ヲ一ニ
購ふ

あ、
あがなふ

あがなふ　あぐ　あたゝかし

贖ふ　罪ノ代リニ出ダスコト。○贖罪

あぐ（あがる）

揚ぐ　高ク打チアグルコト。○抑揚○揚揚自得

挙ぐ　下ヨリモノヲアグルコト。○推挙○一挙手一投足

昂がる　氣ノアガルコト。○激昂○昂然

あたゝかし（あたゝむ）

暖かし　熱度ノ高キヲ云フ。○日暖（カナリ）○風暖（カナリ）

温かし　水ノ稍アタヽカキヲ云フ。○温泉○温暖○温和

煖む　物ヲアタヽムルヲ云フ。○煖ム酒ヲ○煖爐

あたる（あつ）

當る　正面ニ對スル義。○正當○至當○適當○擔當○當百發百中○中毒

中る　的ニアタルコト。○的中○百發百中○中毒

方る　○方今

あつむ（あつまる）

集む　多クノ一ツ所ニ寄スルコト。○召集○集會○集合

纂む　書物ヲカキアツムルコト。○編纂

輯む　○編輯○纂輯

聚む　○聚合○聚散

萃む　○拔萃

あと

跡　足アトノコト。○足跡○形跡○事蹟○不レ踐レ迹論ヲ語

迹、蹟　此ノ二字ハ跡ト通用ス。○墨蹟

痕　アトノツキタルコト。○瘡痕○淚痕○墨痕

軌　車輪ノアト。○軌道○同軌○軌範

あはれむ　憐む　憫む（あはす）

あふ（あはす）　合ふ　遇ふ　會ふ　逢ふ

あはれむ　あふ

憐む　カハユク思フコト。○愛憐　心ニフビンニ思フコト。○憫（ムレ）　民（チ）ナ物ノ一ツニナルコト。○會合　期セズシテ出デアフコト。○奇遇　○可（シ）憐（ムレ）　○憐（ムレ）花（チ）　○憐（ムレ）月（チ）

○會話　○會議　○遭遇　○相逢

遭ふ　○遭難

あへて　「オシキッテ」ト云フ意、ハヾカル所ナキ義。○敢問　○敢辭ス　○敢爲

敢て　「キニムイテ」ト云フ意、心中ニ納得シテユルス義。○肯來　○肯諾

肯て

あまねし　總體ニカカル義。○普及　○普天之下、莫非王土　詩經

普ねし　ユキトヾク義。○周到

周ねし

遍ねし　○遍照

あやぶし（あやぶむ）

危ふし　アブナクテ顛覆ニ
マリ近ヅクコト。

○危難　○危急　○危
○危殆　○岌岌乎（トシテ）　コトニ
殆（イ）哉　禮記

あやまり（あやまち、あやまる）

誤解　○誤謬

謬見

過ち　思ヒガケヌ仕ソコ
ナヒヲスルコト。　○過失

あやふし　あやまり

あらたむ　あらはる

あらたむ（あらはる）

改む　モノヲシナホスコト。○更改○變改○改正○過テバ則チ勿レ憚レルコト

悛む　心ヲ直スコト。○悔悛

革む　根本ヨリ變ズルコト。○改革○革命

更む　○變更○更新

あらはる（あらはす）

顯はる　幽ノ反對ナリ。○顯微○貴顯○顯榮

著はる　明カニ見ユルコト、又書物ヲ作ルコト。○著述
彰はる　○彰著○彰明○顯著○著述
見はる　○隱見○發見
現はる　○出現○現象
表はす　○表彰○表出
あらふ（すゝぐ）
洗ふ　水ヲソヽギテキヨムルコト。○洗濯
濯ぐ　○洗心

あらはる　あらふ

顯はる　幽ノ反對ナリ。○顯微○顯貴○顯榮

あり

有り　物ノアルコト。○有無

在り　ソノ處ニアルコト、在ノハ「ニアリ」ト見ルベシ。字

○存在○死生有リ〻レ命、當貴賤ニ論レ天語

い ノ 部

いかる　イカリノ外ニ見ハル、コト。○怒色○激怒○怒髪○喜怒

怒る　心ニイマ〳〵シク思フコト。○瞋恚

恚る

惱る　心ニムツトスルコト○人不「シテ」知「ラ」而不「シテ」惱「ラ」論語

忿る　○忿怒○忿怨

いこふ（やすむ）

息ふ　安氣ニヤスムコト○○休息○安息日

憩ふ　小ヤスミヲスルコト○○休憩

休む　務ヲヤムルコト○○休暇○休戰

いさむ

諫む　其非ヲサシ示シテ異見スルコト○○諫言○直諫

いかる　いこふ　いさむ

いだく　いたむ

諷（フウ）ス　ヨソゴトヲ云ヒテ遠マハシニ人ニ異見スルコト。○諷諫○諷諭○譏諷○諷

議

いだく

抱ク　カヽヘモツコト。○懷抱○抱負

懷ク　フトコロニ入ル、物ヲ秘藏スルコト、心ニ思フコト。○懷（クレ）壁（ヲ）○本懷○述懷

擁ク　○擁護

いたむ

悼ム　ナゲカハシク思フコト。○悲悼○哀悼○追悼

庸ム　イタミヲ覺ユルヲ云フ、ゾレヨリ轉ジテ事ノ切ナルニモ用フ。○痛恨○悲痛○痛

痛む　イタミヲ覺ユルヲ云フ、轉ジテ事ノ切ナルトキニ用フ。　○痛恨○非悲痛○痛嘆○痛憤○痛惜○痛快

慘む　ムゴキコト、又カナシキサマヲ云フ。　○慘忍○慘烈○慘憺

疼む　イタミノ始終ヤマヌコト。　○疼痛

傷む　○哀傷○悲傷○毀傷

至る　ユキトヾクコト、又至極ノ義ニ用フ。　○至大○至極○知至

到る　コヽヨリカシコニイタリ、カシコヨリコヽニイタルコト。　○到ル處○到著

いたむ　いたる

詣る ○造詣 ○參詣

いつはり（**いつはる**）

僞り　誠又ハ眞ノ反對ナリ。○詐僞 ○虚僞 ○僞作 ○僞物

詐り　虚言ヲ吐クコト。○巧詐、不」如」拙誠」韓非子

詭り ○詭詐 ○詭計 ○詭巧

いぬ

寢ぬ　寢ニ就クコト。○就寢 ○寢食

寐ぬ　ネイルコト。○假寐 ○寤寐

いはふ

祝ふ　行末ヲイノルコト。○不敢（テ）以（テセ）祝（ナ）、而敢（テ）以（テス）規（ル）韓文○祝詞

賀（ガ）す　ヨロコビヲノブルコト。○賀状

いふ

曰ふ　人ノ言ヲ直チニウツストキ、又物ヲ數ヘ立ツルトキ等ニ用フ。○孔子曰、詩（ニ）曰（ク）天地之大徳（ヲ）曰（フ）生（ト）易經○曰（ク）仁曰（ク）義

云ふ　「曰フ」ト略ボ同義ナリ。○又文ノ終ニ置クトキハ「コレヲ云フ」ト申スコトデアリマス」トイフ意ナリ。○子云、

いはふ　いふ

言フ所ヲ口ニ出サヌ心ノ事ヲ謂フ　心ニ思フ所ヲ口ニ出シテ言論ノブルコト○來レ予與レ爾言ハント欲スルヲ名ヅクルト等ニ用フ○孔子謂フニ季氏ヲ天命之ヲ性ト謂ヒ中庸ノ謂ツテ顔淵ニ曰ク

いましむ（いましめ）

戒む　前カドヨリ注意シテ事ヲヨク守ラスルコト○警戒○戒心

誡む　○前車ノ覆ルハ後車ノ誡ナリ　漢書

警む　目ヲサマシ驚カスコト○　○警ムル夜ナ　○警察

箴む　○心箴○規箴○箴言

いやし（いやしむ）

卑し　尊ノ反對ナリ。○尊卑○卑見○卑劣

賤し　貴ノ反對ナリ。○貴賤○貧賤

鄙し　○鄙陋○都鄙

陋し　○固陋○陋巷

う　ノ　部

うかゞふ　うく

得　失又ハ喪ノ反對ニシテ、自然ニ手ニ入ルコト。

獲　故意ニウルコト。○捕獲

喪（フコトヲ）易經

うかゞふ

伺ふ（ヒソカニ）様子ヲハカルコト。○伺候

窺ふ（ノゾクコト。○管中（ヨリ）窺（フレ）豹（ヲ）

うく

受ク（モノヲウケトルコト。○實（ニ）受（ケ）ク天（ノ）福（ヲ）

○得失○知（ツテ）得（ルコトヲ）而不（レ）知（ラ）

承く　カナタヨリ來ルヲコナタニマチテウケトルコト○了承○承諾

稟く　天又ハ上ノ命ヲウクルコト○稟賦○稟受○稟旨

饗く、享く　此ノ二字ハ同義ナリ○祭レバ則チ鬼享ク之レ孝經

うごく（うごかす）

動く　靜ノ反對ナリ○反對○動止○擧動

搖く　定ノ反對ナリ○反對○動搖○山岳搖ク

蕩く　搖ト同義ナリ○同義○搖蕩○震蕩

うしなふ（うす）

失ふ　手バナス　コト○　○得失　○失亡　○遺失

喪ふ　見エナクナ　ルコト○　○喪　レ母ヲ　ファ

亡ふ　影モ形モナクナル　ニ取リウシナフコト○　○滅亡

うつ

撃つ　タ、クコト、ヤ　ブルコト○　○攻撃　○撃殺

打つ　○打撃　○毆打

拍つ　○拍手

撲つ　○撲滅

討つ　○征討

伐つ　○斬伐○征伐

うつす（うつる）

移す　處ヲカフルコト。○移住○移轉

遷す、徙す　此二字ハ通用ス。○遷移○遷謫○徙

寫す　モノヲカキウツスコト。○謄寫

摹す　物ノ形ヲ似スルコト。○摹倣

描す　畫ヲウツスコト。○描摹

うばふ　奪ふ　篡ふ　褫ふ

ムリニトルコト。○強奪　○予奪　○奪取

下ヨリ上ノモノヲウバヒトルコト。○篡賊　○篡弑

トリアグルコト。○褫位

うらむ　怨む　恨む　憾む

人ヲウラミ又アダトスルコト。○恩怨　○私怨

怨ノ義ニ近シ。○帳恨　○遺恨

口惜シク思フコト。○遺憾

うるはし
美はし　立派ナルコト、惡又ハ醜ノ反對ナリ○美服○美俗○美味○美徳○美名
麗はし　○美麗
妍（ケン）　○妍麗○妖妍○妍美○爭（フ）妍（レ）ヲ
艶（エン）　○華艶○艶麗
うるほふ（うるはひ）　シメルコトニシテ乾燥ノ反對ナリ○水就（レ）濕（ニ）
濕ふ
うるはし　うるほふ

憾む　口惜シク思フコト○遺憾

潤ふ　ウルホフコト、ツヤノアルコト。○溫潤○潤澤

霑ふ　○霑染○霑被

うれふ（うれひ）

憂ふ　物事ヲ心配スルコト、又喪ノコトヲ云フ。○憂國○内憂○外患

患ふ　災難ナドニアヒテマタリ心配スルコト。○外患○憂患

愁ふ　モノサビシクオモフコト。○憂愁○旅愁○客愁

え　ノ　部

選ぶ　エリヌク
コト。
○文選○選擧○選擇
撰ぶ　コシラヘ
ルコト。
○撰著○撰述
擇ぶ　ヨシアシヲエリ
ワクルコト。
○擇言○擇行

お ノ 部

おくる　人ノ行ヲオクルコト、又
ハ物ヲ運搬スルコト。
○送別○目送○運送○送
達

贈る　人ニモノヲオ
クルコト。
○贈言○贈與

おこたる

怠る　心ノタルムコト。○怠惰○怠慢

惰る　勤ノ反對ニシテ精ヲ出サヌコト。○惰弱

懈る　○懈怠

おこる（おこす）

興る　オコリタツコト。○興廢○奮興○勃興

起る　オキアガルコト。○蹶起○興起○蜂起

儉ノ反對ニテ、華奢多ノ國奢（レバ）則（チ）示（スニ）之（ニ）以（テス）

奢る　儉ノ反對ニテ、華美ヲ好ムコト。○奢侈○國奢レバ則チ示スニ之ニ以テス

驕る　儉ヲ禮記

驕る　謙ノ反對ニテ高ブルコト。○驕傲○驕奢○驕慢○富ミテ而無シ

驕　ルコト論語

傲る　人ヲ輕ンズルコト。○傲レ世ニ○傲慢不遜

おす　上ヨリオシツクルコト。○押壓

押す　ワキカラオシヤルコト。○推ス門ヲ○推考

推す

壓す　カヲ以テ押シツクルコト○壓制○鎭壓

おそる（おそれ）

恐る　心ニキヅカフコト○○恐懼○恐怖○恐惶○惴恐

畏る　オソルヽコトノ甚シキヲ云フ○○畏敬○畏服

懼る　○亂臣賊子懼（ルル）孟子

おつ（おとす）

落つ　物ノ上ヨリオツルコト○○落葉○花落（ツ）○落第

隕つ　高キ處ヨリオツルヲ云フ○○星隕如（シ）雨（ノ）○隕（ツ）于深淵（ニ）

此ノ二字ハ落ノ字義ニ近シ、車、馬、船ナドヨ

墮つ、墜つ　此ノ二字ハ落ノ字義ニ近シ、車、馬、船ナドヨリオツルニハ落、墜、墮ノ三字トモニ用フ。

おどろく（おどろかす）

驚く　ビックリスルコト。○驚嘆○嘆ニ了ス一驚ヲ一

愕く　驚ノ字ヨリ重シ。○驚愕

駭く　○驚駭

おふ

追ふ　アトヨリオヒカクルコト。○追跡○追従○追懐

逐ふ　オヒハラフコト、オヒマハスコト。○放逐○逐ニ水草ヲ一而居ル

おほふ

覆ふ　上ヨリカブセカクルコト。○覆載○天無シ二私一覆フ一　禮記

蓋ふ　フタヲスルコト。○力抜キ山ヲ兮、氣蓋フ世ヲ　史記

蔽ふ　オホヒカクスコト。○隠蔽○一言以テ蔽フ之ヲ　語論

掩ふ　サヘギリカクスコト。○掩護○掩ウテ二其不善ヲ一而著ハス二其善ヲ一　大學

おほむね

概ね　オシナラシテ云フコト。○梗概○概略

率ね　ナラシテミツモル意ナリ。○率ネ常ニ在リ二下杜ニ一記ス二宣帝ノ

おもふ

思ふ　工夫思案スルコト○再思○三思○愼思

想ふ　オモヒマハスコト○想像○思想○想慕

懷ふ　○懷舊○胸懷○襟懷

惟ふ　タヾ一筋ニオモフコト○思惟○伏（シテ）惟（フ）○恭（シ）惟（フ）

顧ふ　○回顧○顧慮

おもむく

赴く　其ノトコロヘ行キカヽルコト○赴任

趨く、趣く　此二字ハ同義ナリ、何レナリトモ一箇所ヲ心ガケテ走リユクコトニ用フ、又心ノオモムキヲ云フ。

○趨走○志趣○幽趣○雅趣

か　ノ　部

かうばし（かぐはし）

香ばし、馨ばし　カヲリノヨキコト。○馨香

芳ばし　○春芳○衆芳○餘芳

かかぐ

掲ぐ　高キ處ニカクルコト。○掲載○掲示

かゞやく（**かゝる**）

灼く　モエタツヤウニ見ユルコト。○**灼灼**

煌く　キラ〳〵トヒカルコト。○**煌煌**

曜く　光ノ盛大ナルコト。○**煥乎**○**明煥**

耀く　日等ノ光ヲイフ。○**曜靈**

光く　テリワタルコト。○**光耀**○**耀耀**

かゞやく（**かゞやかす**）

褒ぐ　○**褒**（グレ）**雌**（ナ）○**褒**（グレ）**嘗**（ナ）

掛く　懸く　係る　○關係

かくる（かくす）

隱る　竄（ザン）す　匿す

かたし（かたむ）

○顯ノ反對ニシテ、アラハレヌコト。○隱遁　○隱居　○隱徽

○匿名　○遁竄

ヒキカクルコト、又ヒキカヽルコト。○掛物　○掛ル＝網羅＝ツリカクルコト、又ツナギトメラルヽコト。○懸命　○懸軍萬里

かたし かつ

堅し　脆ノ反對ナリ。○堅牢○堅固○中堅

固し　ユルガヌコト。○險固○金城ノ固（カタメ）

硬し　軟ノ反對ニシテ、シンノアルコト。○硬骨

かつ

勝つ　負ノ反對ナリ。○勝利○勝負○百戰百勝

克つ　勝チ難キニ勝ツヲ云フ。○克己ニ○克ッ其城ニ

捷つ　軍ニカツコト。○戰捷○捷書

かなしむ

悲む　心ニイタムコト。○慈悲○悲喜

哀む　心ニフカクイタムコト。○悲哀○哀樂○哀痛

かなふ　宜シキヲ得タルコト。○適當○適合

適ふ　ツリアフコト。○名稱（レ）實ニ

稱ふ

協ふ　和合スルコト。○協同○協力

かはる（かふ）

變はる　常ノ反對ニシテ、ウツリカハルコト。○世變○時變○變易○變

改

代はる　他ノモノニカハルコト。○代人ニ○代理

易ふ　一物ノ變ズルコトニモ、物ト物トヲトリカフルコトニモ用フ。○變易○更易○貿易

○交易

更ふ　○變更○更代

替ふ　○交替○爲替○隆替

換ふ　○交換

かへりみる

顧る　フリカヘリテウシロヲミルコト。○左顧○眷顧○恩顧

省る　見廻リテアルクコトヽ。又心ノウチニ見廻ルコト。○省察○自省○反省○

検省○省識

眄す　横目ヲツカフコト。○顧眄

かへる（かへす）

帰る　出デタル處へタチカヘルコト。○帰宿○帰國○帰朝

還る　同シ道ヲカヘルコト。○往還

廻る　マハリモドルコト。○迂廻

復る ○往復
かんがふ 考ふるコト。○考古○思考
考ふ 胸ニ手ヲアテ、トクト考フルコト。○按出
按ず
かわく（かわかす）濕ノ反對ニシテ、シメリケノヌケタルコト。○乾燥○乾物
乾く 潤ノ反對ナリ。○高燥
燥く

き ノ 部

きく（きこゆ）

聽　キカント思ヒテキクコト。○謹聽　○傍聽　○聽ル雨ヲ

聞　先ノ聲ノ耳ニ入ルコト、又オノヅカラキコユルコト。○見聞　○令聞　○聞達

きず

創　キリキズノコト。○創傷

疵　アザノ如キキズヲ云フ。○小疵

瑕　ケガノコト。○負傷

モチマヘノキズ。○瑕瑾　○疵瑕

きはまる（きはまる）

きはむ（きはまる）

極む　至極ノ義ナリ。○極致○至極○極知

究む　終リマデ尋ネ至ル意ナリ。○究竟○研究

窮む　○窮理○窮通○窮達

きよし（きよむ）

清し　濁ノ反對ニテ、水ノスムコト。○水清（シ）○清風○清潔

淨し　穢ノ反對ニシテ、キレイナルコト。○清淨

潔し　○高潔○潔白○純潔

瑕　モチマヘノキズ。○瑕瑾○疵瑕

きる　刀ニテキリキザムコト。○切斷　切る　キリハナスコト。○斬殺○斬罪　斬る　タヽキルコト。○伐木　伐る　ハサミキルコト。○翦彩花○勿レ翦ルコト　翦る

くだく　ノ　部

くだく　細カニ破ルコト。○破碎○零碎　砕く

摧く　竹木又ハ器具ナドヲクダキヒシグコト。○破摧○摧折○摧損

碎く　細カニ破ルコト。○破碎○零碎

摧く　竹木又ハ器具ナドヲクダキヒシグコト。○破摧○摧折○摧損

くつがへる（くつがへす）

覆る　ヒツクリカヘルコト。○顚覆○反覆

顚ず（テン）　サカサマニ倒ルヽコト。○顚倒

くづる

崩る　高キ山岳ナドノクヅレオツルコト。○崩壊

壞る　凡テ物ノソコナヒクヅルヽコト。○破壞○壞亂○敗壞

頽る　下墜ノ義ナリ。○敗頽○傾頽

くだく　くつがへる　くづる

くばる　相當ニワリアツルコト。○配合○分配○配達

配る　賦ス　○賦税○賦課

くむ

汲む　水ヲクムコト。○汲ム　水ヲ

酌む　酒ヲクムコト。○獨酌

掬む　兩手ニテスクヒトルコト。○掬ム　水ヲ

斟む　ウメアハスコト。○斟酌

くらふ　ウメアハスコト。○斟酌

食ふ　モノヲクフコト。○飲食○食堂○食（ハム）祿ヲ

喫（キツ）す　○喫煙○喫茶

くるしむ（くるし）

苦しむ　辛苦ノ義ナリ。○艱苦○苦心○千辛萬苦

困しむ　ナンギスルコト。○貧困○困窮○困乏○困難○困倦

け　ノ　部

けがす（けがる）

けがる　こたふ

汚る　ケガルコト○○汚穢

濆す　心ヤス過ギテ無禮ニ流ルヽコト○○褻濆○胃濆

こ　ノ　部

こたふ

答ふ　サキノイフコトヲウケテコタヘスルコト○○問答○返答○答案

對ふ　人ノ問ニ一一コトヲワケテコトフルコト○○應對

應ふ　○應接○應答

ことごとく

ことごとく

盡く　ノコラズノ義ナリ。○盡滅

悉く　事ヲキハメツクス義ナリ。○悉皆

ことに（ことなり）

殊に　キレハナレテトイフコト。○殊（ニ）美（ナリ）

特に　トリワキテ、ヒトリスグル、義ナリ。○特別○特許○奇特○特立獨行

異なり　○異時○異日○異域

こひねがふ

希ふ　事物ノデキルヤウニネガヒノゾムコト。○希望

冀ふ　ネガフ辭ニシテ希ノ字ト通用ス。○仰冀

尚ふ、庶幾ふ　此ノ二字何レモ「ナニトゾ」ト「ドウゾ」ノ義ナリ。

こふ

請ふ　マコトヲ以テネガヒモトムル意ニテ、サキノ樣子ヲウカゞヒ問フ意ヲ含メリ。○請求○請願

○申請

乞ふ　コヒモトムルコト。○乞ヲ正ニ斧正ス○乞食

こゆ（こす）

越ゆ、踰ゆ　此ノ二字ハ同義ニシテ、フミコエトビコユル意ナリ。○越職○越俎○

こゆ　これ

超越ゆ、踰ゆ　此ノ二字ハ同義ニシテ、フミコエトビコユル意ナリ。○越職○越俎○超越○僭越○踰牆○超ゆ○超然○超格○超等

これ

此れ、是れ　此ノ二字ハ何レモ「コレ」、「コノ」ニ「コヽ」、「コヽ」ハ「カク」ト訓ズ「此レ」ハ指ス所切ナルモ「是レ」ハ指ス所汎クシテ輕シ。○此ノ日○於テ此ニ○是以テ○如是

斯れ　「此レ」ト畧ボ同義ナリ。○斯ノ人ニシテ也、而有斯ノ疾ヲ也　論語

之れ　上又ハ下ニアル事項ノ代名詞ナリ、漢文ニテハ音調ヲヨクスル爲メニ助辭トシテ用フルコトアリ。○天命

之（チ）謂（ヲ）性（ト）

維（レ）れ　○維（レ）時

ころす

殺す　イノチヲトルコト○　○殺戮○殺伐○自殺

誅（チュウ）す　罪アルモノヲ殺スコト○　○誅伐○誅殺

戮（リク）す　ミセシメニ殺スコト○　○誅戮

弑（シイ）す　尊長ノ人ヲ殺スコト○　○弑逆

さ　ノ　部

さかふ
逆ふ　順ノ反對ナリ。○順逆○大逆無道
忤ふ　心ニサカフコト。○忤ニ其衆ニ以テ伐ツ○有道ヲ禮ニ記ス
さかんなり
盛んなり　衰ノ反對ニテ、サカリ最中、頂上ノ所ナリ。○盛大○盛衰
壯んなり　モノヅヨキコト。○雄壯○壯健○壯勇○老イテ益〻壯ナリ　○壯丁
昌んなり　○繁昌

さかふ　さかんなり

隆んなり　○隆盛○隆興

熾んなり　○炎熾○熾盛○昌熾○熾隆

さく

裂く　ヒキサクコト○　○分裂○開裂○四分五裂

割く　キリトルコト○　○割據○割取○割腹

劈く　斧ニテウチワルコト○　○劈（ク）薪（レヲ）○劈（ク）山（レヲ）

剖く　割キ分クルコト○　○解剖○剖（クニ）竹木（ヲ）○剖（キレ）腹（ヲ）出（スレ）腸（ヲ）

さぐる（**さがす**）

探る　サキノ様子ノ知レヌモノヲウカゞヒサグルコト。○探レル湯ナ○探ルニ虎口ナ○探

捜す　アリタルモノヽミエヌヲサグリモトムルコト。○捜索

さしはさむ

挟む　コワキニカイコムコト、テ物事ヲタノミニスルコトニ用フ。○挟書○不レ挟

貴ヲ

挿む　サシコムコト。○挿花

さだむ

さだむ　さとる

○定む　事ノ一定シテオチツクコト。○決定○確定○定論○未定

○奠む　定ト同義ナリ。○奠都

○決ス（ケッ）　○決斷

○さとる（さとす）

○覺る、悟る　此二字ハイヅレモ眼ノサムル義ヨリ轉ジテ、合點スルコト。○覺悟○知覺

○頴悟

○曉る　○通曉○曉（ル）ニ文義ヲ

○喩す　○教（ヘ）喩（シテ）而德成（ル）也　禮記

さむ（さます）

覺む　目ノサムルコト○三皇之事ハ如ク夢ノ如シ覺レ列子

醒む　酒ノサムルコト○衆人皆醉ヘリ我獨リ醒メタリ楚辭

寤む　○寤寐

さる

去る　來ノ反對ナリ○去年○去月○薨去○死去

違る　ハナル、コト○○忠恕違サルコトヲ道不レ遠カラ庸中

距る　○距離

さわぐ（さわがす）

騒ぐ　イソガハシクミダル、意ナリ。○騒動○騒然○騒乱

躁ぐ　静ノ反對ニシテ、急動ノ義ナリ。○躁急○浮躁○輕躁

噪ぐ　鳥ノムラガリテ聲ヲ聲ニ鳴クコト。○喧噪○乱噪○蟬噪

譟ぐ　人ノ聲々ニヤカマシクワメクコト。○喧譟○鬧譟○鼓譟

しきりノ部

しきりに　「オヒカケオヒカケ」ノ意ニテ「セハシナク」ト云フ程ノ語ナリ。○頻繁○頻年

連りに「ツヾケテ」ト云フ意ナリ。○連年○連（リニ）有（リ）災異（ニ）

切（ヤッ）に「シミジミ」トイフ程ノ意ナリ。○切（ニ）思（フ）○剴切○親切○懇切○切迫○

切要○激切

したがふ

從ふ 違ノ反對ニシテ、タガハヌコト。○服從○適從○侍從○雲ゝ從ゝ

隨ふ 從ノ義ニ近シ、「マニ〳〵」ト云ヘル詞ハ此ノ字ニヨク合フナリ。○隨行○隨意○追

龍（ニ）

隨

しきりに　したがふ

頻りに「ハシナク」ト云フ程ノ語ナリ。○頻繁○頻年

循ふ　モノニソヒテユクコト。○循環○因循○循ニ法度ヲ一
遵ふ　此ノ二字ハ従ト同義ナリ。○遵守○遵奉○率ニ祖訓ヲ一
順ふ、率ふ
順ふ○順逆○柔順○和順○孝順○遜順○順風○
溫順

したふ

慕ふ　ハナレガタク思フコト。○愛慕○思慕○羨慕○景慕○欽仰○欽ニ英風ヲ一
戀ふ　タフトク思ヒテシタフコト。○戀々

しづか　靜　○閑　徐　舒　寂　しばらく

しづか

靜か　動又ハ躁ノ反對ニシテ、ウゴカヌコト、サワガシカラヌコト。○沈靜○閑靜○靜觀

閑か　忙ノ反對ナリ。○消閑○閑散○閑地○閑日月

徐か　疾ノ反對ニテ、ユルヤカナルコト。○徐歩○徐言

舒か　迫ノ反對ニシテ、ユルフルコトノブル意アリ。○用ヒ之者舒ナリ（シヅカナリ）　大學

寂か　○寂然○寂寞○閑寂○寂寥

しばらく　しりぞく

暫く　久ノ反對ニシテ、「チヨツトノマ」ナリ、但シ事ノ上ニテ云フニハアラズ時ノ上ニテ云フ。○姑く　事ノ上ニテ「マア〳〵チヨツト」ト云フコト。○且く　姑ト同意ナリ。○苟且

しりぞく

退く　アトヘサガルコト。○進退

却く　○退却○且ツ戰ヒ且ツ却ク

斥く　○排斥○斥逐○屏斥

黜く　官位ヲ貶シ下グルコト。○黜陟

擯く　○擯斥

擯く　○擯斥

しる

知る、識る　此ノ二字ハ大抵通用スレドモ差別アリ、知ルコトナリ、故ニ識レ已ヲハ皆深ク知ルコトナレドモ識レル名ヲ識レル面ヲハ見ル方ハ知ヨリハ軽シ○

○知己○識ニ二ヲ一　荘子

○識ニ一ヲ而不レ知ニ一ヲ其

しるす

記す　書キトムルコト○○書記○筆記

誌す、識す　姓名又ハ自製ノ文章ナドヲカキシルスコト○○某誌ス

しりぞく　しる　しるす

しるす　すくなし

錄　しるす　書キウツスコト。○記錄

すくなし

す　ノ　部

すくなし　數ノ多カラヌコト。○多少

少なし　○衆寡

寡なし　○鮮少

鮮なし　○尠少

尠なし　鮮ニ同ジ。○不」尠

すくふ

救ふ　タスケマモル意アリ。○救濟

濟ふ　コエカヌル處ヲコサスル意アリ。○普濟○濟世

援ふ　ヒキヨセテタスケスクフコト。○援ファレ之ナ○援助

すゝむ

勸む　人ニ斯クセヨ斯クスベシトモヨホシウナガスコト。○勸善○勸告○勸學○勸進

進む　前ノ方へ出ヅルコトナリ。○進退○後進○先進

薦む　人ニ物ヲ進上スルコト、又ハ人ヲスヽメアグルコト。○推薦○薦擧○貢薦

差む　オモニ食物ヲスヽムルコトニ用フ。○、○差（ム）之（レ）ヲ

すつ（すたる）

捨つ　トリアゲヌコト、カマハヌコト、溝壑ナドニナゲスツル意ニハアラズ。○取捨

棄つ　用ニタヽ、ヌモノトシテステキリウチヤル意。○放棄○廃棄○棄権○自棄

暴自棄

撤つ　トリノクルコト。○撤去○撤回

廃つ　ステモノニシテオクコト。○廃物

すでに

既に、已に　此ノ二字ニ就テ、既ハ将（マサニ）ノ反對ニシテ、事ノ全ク終イマダ

既（スデ）に、已に　此ノ二字ニ就テ、既ハ將（マサニ）ノ反對ニシテ、事ノ全ク終リタルニアラザレバ用ヒズ。已ハ未（イマダ）ノ反對ニシテ、其事ノ終ルカ終ラザルカノ間ニ言ヒ出ス辭ナリ。上ニアラザレバ、既ノ字ニ比スレバ、其義輕シ。○例ヘバ「トクニ何々」トイフトノ差別アルガ如シ、百里皆行キ盡シタルハ既ナリ、一二里行キカ、リタルハ已ナリト心得ベシ。○不（シテ）レ待（タ）ニ相見（ルコトヲ）、相信（ズルコトニ）已（ニ）熟（ス）、既（ニ）相見（テ）不（シテ）レ要（ニ）相親（シ）韓文

すなはち　上ヲウケ下ニツヾクル辭ニテ、「トキハ」「トキニモ」「コトハ」「トキニ」等ノ意ニ用ヒタル所アリ。○

則（ツテハ）孝、出（デハ）則弟（ス）　論語

卽ち　卽今ノ義ニテ、其場ヲハナレヌコトナリ、俗語ニテ「ツヒ」「スグニ」ナド云ヘルニ當リ、皆ソノ處ニツキテ辭ナキヲ云ヘリ。

乃ち　繼目ニ置ク字ナレバ、隨テ其義シ、「ソコデト」譯シテ見ルベシ。

輒ち　此ノ二字ハ同字ナリ、コレハ上ヲ一フシ言ヒ終リ、サテ其次ヲ言ヒ出ストキニ、上ノ文トノ「ソノタビゴトニ」又ハ「タヤスキ」ノ意ナリ。

便ち　「都合ニテ」ノ意ナリ。

すべて　「ノコラズ」「一體ニ」ノ意ナリ。

都て　（スベテ）無シ（レ）所ニ愛惜ス（ル）ノ子列

渾　都ノ字ト同義ナリ。○渾合　○渾融

總　絲ヲツカヌル義ヨリ轉ジタル義ナリ。○總裁　○總無（スベテ）實法（ナシ）

凡　概シテ（スベテ）ノ意ナリ。○凡（スベテ）一百五十世（オヨソ）

すみやか

速　ヒマドラヌコト。○遲速　○神速　○早速　○速度

急（キフ）　○危急　○緩急

すむ

住　トドマリスマフコト。○住居

すべて　すみやか　すむ

都　「ノコラズ」「一體ニ」ノ意ナリ。○都（スベテ）無（シ）所（レ）ニ愛惜（スル）ヿ（ナシ）

棲む　カリニスマフコト。○鳥ハ棲ムニ木ヲ

せ　ノ　部

せまし　せまる

狹し　寛、濶、廣、博ノ反對ニテ其義廣シ。○狹隘

陰し　モノ、間ノセマキコト、又○伯夷ハ陰シ孟子

褊し　衣服ノ身ハバノセマキコトヲ云フ、サ度量ノセマキコトヲ云フ、レドモ地形、心性、器量ノ上ニモ用フ。○褊小

せまる　マヂカクツメヨスルコト。○逼ル眞

薄る　逼ト同義ナリ。○薄暮○日薄ル西ニ

迫る　急ナル意アリ、セハシキ意アリ。○逼迫○急迫○卒迫○切迫○

せむ

攻む　城ヲセメウツコト、ソレヨリ轉ジテ心性ノ上ニモ用フ。○攻城○攻ム城ヲ○自ラ攻ム

責む　セメトガムルコト。○刻責○言責○責任

譴む　コトバノ上ニテキビシクシカリトガムルコト。○譴責

讓む　事ノ子細ヲ問ヒタヾシテ咎ムルコト。○責讓○公使讓之ヲ

せむ　そこなふ

數む　罪過ノ次第ヲカゾヘタテヽトガムルコト。

そこなふ

そ　ノ　部

○使ニ吏ヲシテ數メ之ヲ

○使ニ人ヲシテ之ヲ

○害　元來利ノ反對ニテ、總ジテ人ノ邪魔ニナルコト、ソレヨリ轉ジテモノゴトヲソコナヒヤブルコトニ用フ。

○利害

○害ヲ成ス

○傷　キズヲツクルコト。

○負傷

○寒傷

○傷暑

○損　損害

○損耗

○損失

○賊ニ人之子ヲ

そしる　人ノ非ヲサシテソシルコト。○譏謗　人ノ身上ニ就テ悪シク評判スルコト。○譏刺　人ノシカタノアシキヲ見出シテソシリ笑フコト。○誹謗　針ホドノコトヲ棒ホドニ云ヒテ人ヲソコナフコト。○毀譽　人ノ智慧ノタケヲハカリテソシルコト。○短屈原於頃襄王記史　短ミルニ

そゝぐ　水ヲツギコムコト。○流注　○貫注

濺ぐ　水ヲカクルコト。○濺沫（シブキ）　水ヲウツコト。○洒掃（シサウ）　柄杓ニテクミカクルコト。○如（シ）湯（ノ）沃（グガ）雪（ノ）　水ヲナガシコムコト。○百川灌（グ）河（ニ）　溝ヲツケテ田地池澤ナドニ水ヲ引クコト。○灌溉　物ノ數々ヲノコサズ支度スルコト。○具備　ソナヘモノニスルコト。○供養　○供物　○供給

洒ぐ

沃ぐ

灌ぐ

溉ぐ

そなふ

備ふ

供ふ

具ふ　缺ケノナク支度ノ○禮樂具（ヘル）

饌（セン）す　膳ダテヲス○有（レバ）酒食（ヲ）先生（ニ）饌（ス）論語（ヲ）

そばだつ

攲つ　カタアガリニナルコト○○白日攲（ツ）○帶（ヒテ）雨攲（ツ）

峙つ　山ノ屹立スルコト○○對峙（ス）

側つ　正面ヨリ見ズ、ワキヨリ見タル貌ナリ○○反側○寢（ズルニ）不（レ）側（ダ）

そふ

添ふ　少シヅヽマシ加フルコト○○添削○添書

○副貳○儲副ハ何レモサシソフルカヽカヾガヘノ意ナリ。

○儲貳○名實不レ副ハ此ノ二字ハ何レモサシソフルカヽカヾガヘノ意ナリ。

○副ふ、貳ふ　コトニテ、

○傍ふ　ヨリソフコト。

○沙上ノ鳧雛傍レ母眠ル　杜詩　ヒテ　ニ

○背く　フリスツルコト。○背ク　ニ師保之訓ニ

○叛く　ウラガヘルコト。○叛亂○叛逆

○乖く　物ニサカラヒタガフコト。○乖離○乖ク　ニ先王之訓ニ

そ　そふ　そむく　それ

そ　それ

副ふ、貳ふ　此ノ二字ハ何レモサシソフルカヽカヾガヘノ意ナリ。○副貳○儲副

○儲貳○名實不レ副ハ

○傍ふ　ヨリソフコト。

○沙上ノ鳧雛傍レ母眠ル　杜詩　ヒテ　ニ

そむく

○背く　フリスツルコト。○背ク　ニ師保之訓ニ

○叛く　ウラガヘルコト。○叛亂○叛逆

○乖く　物ニサカラヒタガフコト。○乖離○乖ク　ニ先王之訓ニ

それ

夫れ　文章ノ發語ニ用フ又指スコロアリテ用フル時アリ。○夫レ天地ヘ萬物之逆

夫れ　文章ノ發語ニ用フ又指ストコロアリテ用フル時アリ○

其旅（ナリ）桃李園序○夫（レ）我（レ）乃（ヲ）行之（レ）孟子

厥（レ）罪（シテ）而民服（スト）左傳

厥（レ）其ノ古字ナリ○○三人並（ビ）行（ケバ）厥（レ）有（リ）我（ガ）師（ニ）記史

た　ノ　部

たがひに　モノノイリチガフコト○

互に　交互○參互

遞（テイ）に　モト飛脚ヨリ出デタル字ニテ、物ヲツギオクル義ナリ、カハリテウケトル意アリ。○遞送

迭（テツ）に　カハリアフコト。○更迭

たがふ

差（サ）ふ　クヒチガフコト。○過差○差違○參差（シンシ）

違（イ）ふ　タガヒテ離レ去ルコト。○違背○違犯○心事違ヘリ

たくはふ

貯（チヨ）ふ　入用ダケヲカコヒオクコト。○貯粟○積貯

蓄ふ　トリアツメテヲサメオクコト。○蓄積　○貯蓄　○廩蓄不レ乏シカラヲ

儲ふ　用意ニタクハヘオクコト。○倉儲　○乏シ　儲石之儲　漢書ニ

たけなは　酒宴ノ最中ノ義ヨリ轉ジテ、物事ノ盛ンナル時ニ用フ。○酣興　ナリ　○酣戰　ナリ

酣

闌　○宴闌　ナリ　○酒闌　ナリ　○興闌　ナリ

たすく

助く　チカラヲソフルコト。○助力　○救助

援く　ヒキアゲタスクル意。○援助　○後援　○援兵　○嫂溺ルレハ則援クルニヲ之ニ

祐ケ以（テス）手（ヲ）孟子（レ）

佐ケ以（テス）佐（ク）ニ王（ノ）邦國（ヲ）周（ノ）禮（ニ）一

輔ケ輔ク○天祐

扶ケ輔ク○輔佐○艮佐○以佐ク○輔佐○艮佐○以

資ケ輔ク○輔助○輔弼

たゞ手ヲソヘテタスクルコト○○扶持○顚（レドモ）而不（レ）扶（ケ）

唯モトデヲヤルコト○○資力

獨リノ義ナレバ「ヒトリ」ト譯スベシ○○唯天爲（ス）大（ナリト）論語

○其（レ）唯聖人乎

經易

惟 唯ノ字ト同ジク、「タツタ」「バカリ」ト譯シテ見ルベシ。

但 俗語ノ「バカリ」ト云ヘル義ニ用フ、然ルニ「タダシ」ト訓スル時ハ、「ソレハソウダケレドモ、コレハカウ」ト引キ分ケテ云フ詞ナリ。○但見○但欲（スニ）一心直（チニ）遂（グント）柳文

只 何ノ意モナキ助語ニ用フルコト多シ。○○只今○只想（ヲ）○只獨（リ）眠（ル）

徒 「タヾ」ニ「ムナシク」ニ「イタヅラニ」ナド訓スレドモ其義ハ同ジ。○徒善○徒法○徒

爲

啻 一字ニテ用フルコト稀ナリ、常ニ「不啻」「何啻」ナド打消又ハ疑問ノ語ヲ添フ。○

たゝかふ
戰ふ　兩方ヨリウテタタカフコト○挑戰ナレムル○合戰○連戰○力戰○
鬪ふ　勝ヲ爭フコト○牛鬪○爭鬪○格鬪○兩虎鬪ノ○血氣方剛ニシテ戒ムルコトヲ之在レリ鬪ニ論ノ語レ
たゝく
叩く　音ノスルヤウニタヽクコト○○叩門ナレ○叩首
敲く　ウチタヽクコトニシテ、叩ノ字ヨリハツヨシ○○敲門ナレ○敲石ダレ○敲人ナレ

たゞす

正す　眞直ニ引キナホスコト。○改正　○心正（シタレメ）筆正（ノ）

訂す　○訂正　○校訂

糺す　モノヲ吟味スルコト。○糺問　○繩（シ）惩（ナ）糺謬（メ）

匡す　救ヒ正スコト。○匡正　○匡（タヾ）二匡（スニ）天下（ナ）一　○匡（シニ）救（ア）其悪（チ）一

規す　法ヲ以テ人ヲ正スコト。○規諫　○規箴

質す　○質問　○質疑

たちまち

忽ち　チラ〳〵トスル意ナリ、形ノ上ニテ云フ詞ニテ、捕捉スベカラズ端緒ナキ義ナリ。

風雨忽至（ナ）（ル）　王祥傳

倏ち　忽ノ字ヨリハ輕シ、「ツ、」「ナガラ」ト云ヘルニアタル。○條忽

午ち　忽ノ字ヨリハ輕シ、「ツ、」「ナガラ」ト云ヘルニアタル。○燈將（シヤウ）ニ滅（セントシテ）而午明（アケナリ）　淮南子

たつ

立つ　此ノ字ハ用方ヒロシ、仆ノ字ニ對スル詞ニシテ、タチテヲルコト。○鼎立○中立○孤

起立○獨立

たつ　坐ヨリ身ヲ起シテ立ツコト。○起居○起臥

建つ　オシタッルコト。○建國○建屋

たづぬ

尋ぬ　ヒキツヾイテ其ノスヂヨリタヅヌネモトムルコト。○尋求○尋問○尋常

原ぬ　物ノ根源ヲオシタヅヌルコト。○原始要終○周易

討ぬ　サグリタヅヌル義ニシテ、尋ノ字ヨリハ重シ。○尋討○禍源

踪ぬ　アトヲシタヒタヅヌルコト。○踪跡

たとひ（たとへば）

假令　假定スル意ナリ。○假令晏子ニシテ而在ラバ余雖モ爲ニ之ガ執レト鞭ヲ所ナリ忻慕スルニ焉ノ　馬晏子傳

譬へば　或事柄ニ類似セルコトヲ假リニ作リ設ケテ話スコトナリ。○能ク近ク取リ譬ヘ以テ曉ラシムルヲ之ヲ謂フ　論語

譬へば　譬ト同義ナリ。○譬喩

多數ノ事實中ニテ其一例ヲ採リ、或ハ類似ノ事ヲ擧ゲテ說キ示スコト。○例題

例へば

たのしむ　苦ノ反對ニシテ、心ニオモシロキコト。○行樂

後ニ天下之樂ニ而レヲ

娯　樂ム岳陽樓記

嬉（ウレ）しむ　ナグサムコト、憂ヲ散ズルコト。○娯樂○鼓瑟足（レリ）以（ヲ）自娯（ム）一

嬉（ウレ）し　○嬉戯○兒嬉○羣嬉○遊嬉○嬉々

賴む　タヨリニスル義ナリ。○依賴

恃む　心ダヨリニスルコト。○負恃○憑恃○倚恃○恃怙○門地ノ高（キハ）不（レ）足（レ）恃（ムニ）○恃（ム）德者（ハ）昌、恃（ム）力者（ハ）亡（ブ）史記

なふ

負む　ウシロダヨリニスル意ナリ。○貲（ミテ）貴（キヲ）而好（ムレ）權（ヲ）史記

堪ふ　コラヘテナシトグルコト、辛抱ノ出來ルコト。○不堪（ヘレ）愁（ニ）○其何以堪（ヘンテ）之（ニ）

耐ふ　モチコタフルコト。○耐忍○不耐（レ）煩（ニ）

任ふ　力ノツヾクコト。○堪任○病（ミテ）不任（レ）行（クヲ）

なふとし（たふとぶ）

尊ふ　卑ノ反對ナリ。○尊敬○至尊○尊（ブ）德性（ヲ）

貴し　賤ノ反對ニシテ、位ノ高キコト。○貴賤　○貴ブ　ニ金玉ナリ。○尊敬　○尊徳性

尚ぶ　大切ニスルコト、上品ナリトスルコト。○高尚　○尊ヒ　師ナリ　尚ブ　道ヲ

崇ぶ　アガメウヤマフコト。○崇拜　○崇敬

たふる（たふす）

たふる　ノケザマニタフル、コト。○絶倒　○轉倒

倒る　ウチタフル、コト、死スルコト。○斃レテ　而後　已ム

斃る　横ニナルコト。○僵仆　○詐リ仆レテ　臥ス　レ地ニ

たまく

たふる

偶〻 思ヒヨラズフト アリタルコト。○偶然○偶〻有〻ニ金千斤ヲ

會〻 義ニテ、イデアフ意アリ。○會〻雨阻テラレテ不〻赴〻

適〻 「ヲリシモ」ニ「ヲリカラ」ノ ユキアフ意ナリ。○適〻會フ ニ山林ノ多キニ人周本紀

たまふ、錫ふ 此ノ二字ハ同義ナリ、褒賞シテタマフナリ。○恩賜○錫〻命ヲ

賜ふ、給ふ アテガフコト、又敬語ニ用フ。○供給○支給○月給○俸給○位

に即き給ふ

ち ノ 部

ちかふ
誓ふ　言葉ヲ以テ約束スルコト○作レ誓ヲ誓言○誓フニ軍旅ヲ
盟ふ　神ニチカフコト○會盟○背クハ盟ニ不祥ナリ
矢ふ　○永。矢ヒテ弗レ諉レ

つ　ノ　部

つかさどる
掌る　其持分ヲトリアツカフコト○掌務○執掌○掌レ之ヲ
司る　支配スルコト○司令官○典ニ司ル五衆ヲ

典る　モノゴトノキリモリヲスルコト。○典職（ルヲ）

つかふ

使ふ　指圖スルコト。○指使（シファ）○使役

事ふ　カシヅクコト、又目上ノ人ノ用向ヲツトムルコト。○事君（ファレニ）○事父母（ニ）

仕ふ　主人ニ奉公スルコト。○給仕○奉仕

つかる

疲る　身體ノ草臥ル、コトニモ、精神氣力ノオトロヘヨワルコトニモ用フ。○疲勞

羸る　ヤセオトロフルコト。○羸弱○羸細○清羸

つく

突くフトツキアタルコト○突撃○突出

衝く正面ニツキアタルコト○衝撃

撞く（ウ）ウチアツルコト、故ニ鐘ヲツクコトナドニモ用フ○如撞（シ）（レ）鐘（ガ）（ヲ）

擣つ臼ニテツクコト○擣砧（ツ）（ヲ）

つく

就く近ヅク意アリ○ソコヘユクコト、○去就○就此（キヲ）（レ）（コ）可（シ）（レ）知（ル）

○就（ケム）

つく

就之（ニ）如（ク）（レ）日（ノ）、望（メバ）（レ）之（チ）如（シ）（レ）雲（ノ）

記史

附ク　ツキシタガフコト。○附属　○附随

卽ク　○卽位

つぐ

繼ぐ　絶エタルヲツギ、アトヲツグコト。○繼母　○繼室　○後繼　○繼子

繼承

續ぐ　斷ノ反對ニテ、ツヾクコト。○繼續　○續紘

嗣ぐ　家ヲツグコト。○嗣子

次ぐ　サシツヾクコト。○次之　○次第

接ぐ　ツギアフコト。○接續○接レグ花ヲ○隣接○接近○接レグ紙ヲ

つくす　アルダケキハムルコト。○盡心○盡痒○盡力

盡す　盡トハ同義ナリ。○竭ス其力ヲ

竭す　ノコラズトリタツルコト。○殫精

悉す　一々ノコサヌコト。○知悉

殲す　ノコラズ殺スコト。○殲滅

つくる

つくる　つゝしむ

作る　コシラヘハジムルコト。○造作　○作文　○作爲

造る　コシラヘタツルコト。○製造

製る　○製藥

つゝしむ

愼む　モノヲ粗略ニセヌコト。○愼思　○謹愼　○愼獨

謹む　○恭謹

欽む　畏敬スルコト、又天皇ノ御上ヲ云フトキニ用フ。○欽明　○欽若　○欽天　○經書

欽定

つとむ

勤む　骨折リ精出スコト（ヘ）○勤惰○勤苦○勤學

務む　精力ヲ一途ニ用フル義ニテ、終日ノワザトスル意ナリ。○政務○義務○職務○家務○務（メテ）レ利（ヲ）而避（クル）レ害（ヲ）

勉む　力ノ及バザル所ヲシヒテツトムルコト。○勉勵○勉強○誠者不（シテ）レ勉（メ）而中、不（シテ）レ思（ハ）而得中庸

努む　一イキニ力ヲ入レ勵ムコト。○努力

力む　○力政○力行○力（メテ）レ民（ヲナ）代（フ）レ食（ヲニ）詩經

つね

常 變、怪、奇ノ字ニ反對ノ義アリ、卽チ「モノゴトノ定リタル意」「何ノメヅラシキコトモナキ意」「ナニノアヤシキ意」ニ用フ。○常法○常道○居常○不レ改レ常メヲ

恆 ○恆産○恆心

毎に ○毎度○毎日

つひに

遂に 此ノ事ヨリシテ彼ノ事ヲ成シトゲルコト。○遂行○遂レ通ニ道ヲ于ニ九夷

八蠻ニ書ヲ經

終に 始ノ反對ニシテ、ハテハ」又○終ニ累ハス大德ヲ○終ニ皆終

終ニ始ノ反對ニシテ「ハテ」ハ「トウ〳〵」ノ義ナリ。又○終累大德ニ皆終ニ

竟ニ「トウ〳〵」外ノ事ニハ「ラナンダ」ノ意ニ用フ。○畢竟

卒ニ歸レ秦ニ

つぶさに「ハテハ」ノ意ナリ。○卒ニ盟ツテ而還ル

つぶさに「コトオチモナク」ト云フ義ナリ。○具ニ訓フ蒙士ナ一經書

具ニ同意ナリ。○備具サニ嘗ムレ之ヲ矣

備ニ險阻艱難サニ嘗ムレ之ヲ矣

つぶさに

つまびらか

つぶさに

詳か　略ノ反對ニシテ、クハシキコト。○詳細○詳略

審か　トクト念ヲ入レタシカニスルコト。○豫審○審査○審定

つらなる（つらぬ）

連る　ツヾクコト。○連亙○連珠○流連

聯る　○聯邦○聯合○聯隊

列る　ナラブコト。○排列○行列○列聖○陳列○羅列

とゝ ノ 部

とがむ

尤む　ブネンヲトガムルコトニ用フ。○不尤（メ）人（ヲ）○言寡（シ）尤（メ）　論語

咎む　約束ニ違フカ、道理ニ度ニタガフカヲトガムルコト。○既往（ヘ）不咎（メ）　論語

時　時日ニワリツケテ用フ、又廣ク時節ヲ指スコトアリ。○十二時○學（ビテ）而時（ニ）習（フ）之（ヲ）　論語

秋　元來春夏秋冬ノ秋ニシテ、四時ノ一ナリ、秋ハ物ノ成熟スル時ナルヲ以テ、肝要ノ時節トイフコトニ轉用ス。○危急存亡之秋也　出師表

辰　○佳辰○良辰○吉辰

期○時期○期限

とこころ

所 實語ニ用フルトキト、虚語ニ用フルトキト一樣アリ、實語ニ用フルトキハ其場所又ハ方角ナリ。

處 「ヰドコロ」「アリドコロ」ノ義ナリ。

公ノ所ニ○萬物得タリ其ノ所ヲ○所行○所爲○所作

○到處○住處○東林送ルレ客ヲ處

とづ（とざす）

閉づ 開、啓、闢ノ反對ニテ、シメキルコト。

閇づ 戸ヲタツルコト。○閉門

○闔（トヅ）戸ヲ○開闔

縅づ　口ヲトヂフサグコトナリ。○參（タヒ）縅（ッ）其口（ヲ）一（ニ）
封（フウ）す　フウヲツクルコト。○封入○封縅
とゝのふ
調ふ　程ヨクスルコト。○調和○調諧○調停○風雨調（ノ）
整ふ　クヒチガヒノナキヤウニスルコト、隨テ物事ヲ立派ニスルコトニ用フ。○嚴整○齊整○
修整○整飭
齊ふ　物事ヲヒトツラニソロフルコト、又物事ノヒトツラニソロフコト。○家齊○齊一
とゞむ（とゞまる）
とづ
とゝのふ

止む　動カサヌコト。○動止○禁止

留む　ヒキトムルコト。○去留○滞留○遅留○逗留

停む　ソノ場ニシバラク止マルコト。○停車○停水○停雲○停止

とふ

問ふ　物事ヲタヅヌルコト。○問答○質問○問題

訪ふ　コナタヨリ往キテ問フ、又人ヲ尋ヌルコトニモ用フ。○訪問○来訪

とはる（とはす）　トヒタヾスナリ。○芳訊○訊問

通ル　塞ノ反對ニシテユキヌケテツカヘヌコト。○貫通○開通○四通○窮通

徹ル　大低通ト同義ニシテ、底マデトホリヌクルコト。○貫徹○徹底

透ル　ツキヌクルコト、スキトホルコト。○透明○光透ル窓ニ○汗透ル衣ニ○

墨透紙　ユキヌクルコト。○洞門○洞穴○洞貫

洞ル

ともに

與に　「カレモコレモオナジク」ノ義ニテ「イツシヨニ」「ヒトツニ」ト云フコト。○世與ニ少有ルコト

とほる　ともに

共に　共同ニスル義ナリ。○可與共學（ニ）（ニ）（ブ）（ニ）（ニ）

俱に　○與衆共食不飽（レ）（ニシテ）（レ）（ヲ）（ニシテ）（レ）（ヲ）共飯不澤手（レ）（ニシテ）（レ）（マ）（ニ）禮記

借る　「イツショニ」「ヒトツニ」トニテ、物ヲソロヘテ云フ辭ナリ。○玉石俱焚（ニ）（ク）書經

とる　○夙夜必偕（ズ）（ニス）○偕行社

取る　エラビトルコト、又ハトリモチフルコトニ用フ、皆我ガ物ニスルコトナリ。○取捨エラビトルコト。

採る　○採拾○採擇○採用

○之（チ）

攬ル　取リアツメヒキマトメテ、手ニ持ツコト。○總攬

操ル　持チテハナサヌ意ヨリ、義ヲ立ツルニテモ、一ツ主トシテ立ツルニテモ、一ツノ形ノ長短ニモ用フ。○操刀ヲ○操矛ヲ○操持ノ志操

執ル　手ニ持チテハナサヌコト。○執筆○執ルヲ載ス

な　ノ　部

ながし　永シ

長し　形ノ長短ニモ、時ノ長短ニモ用フ。○才長シ○長短○長久

永し　主トシテ時ノナガキコトニ用フ。○永久○永日○江流永シ

とゞる　ながし

なかれ

勿（レ）視（ルコト）非禮勿（レ）聽（クコト）禁止ノ辭ナリ○非禮勿（レ）論（スルコト）語（ミナ）○愼（ミテ）勿（レ）與（ニ）戰（フコト）史記

毋（レ）以（ルコト）矢張リ禁止ノ辭ニシテ、勿ヨリハ重シ○飯（フニ）黍（ナレ）毋（レ）以（ルコト）酒（ナ）漿（ニ）

莫（レ）使（ムルコトヲ）人聞（カ）也（ニ）鍾會傳○愼（ミテ）莫（レ）多（ク）飲（ムコト）酒（ヲ）

なく

鳴（ク）鳥獸ノナクコト、又「ナル」トモ訓ズ、物ノ聲ヲ出スコト、或ハ名聲ノ世ニキコユル義○和鳴○悲

なくなげうつ

啼く　聲ヲタテ、○鳥人立シテ而啼ク左傳
鳴○鳴ルヲ世ニ

哭く　聲ヲ流シ聲ヲアゲテナクコト。○歌ニ于斯ニ哭ク于斯ニ禮記
泣く　涙ヲ流シテナクコト。○啼泣○泣血
なげうつ　蟲ノナクニ用フ。○喞々ト鳴ク聲ナリ

抛つ　ナゲヤルコト、ナゲスツルコト。○抛棄
擲つ　ナゲツクルコト。○放擲○打擲

なげく　クヤシガルコト。○憤慨○慷慨

慨く　タメイキヲツクコト。○嘆聲○嘆息

嘆く　此字ハ賛美ニモ憂愁悲哀ニモ用フ、嘆ノ字ト略ボ同義ナリ。○嗟嘆

なす（なる）

爲す　作造ノ義ナリ。○有爲○無爲○主人請入爲客

成す　事ヲ成就スルコト。○習成性ト○成績

就る　シトグルコト、出來アガルコト。○成就

禮記

なほ　猶ほ「マダ」「ヤハリ」ノ意ナリ。○其ノ策尚ほ「其上ニ」「マダ」ノ意ナリ。○愚民猶尚ホ犯レ禁ヲ匈奴傳

尚ほ　猶ほ

なやむ　惱む　苦ムコト。○懊惱　モノゴトノサハリガチナルコト。○艱難　○艱苦

ならふ

民力竭キタル矣、安ゾ猶ホ取フン戰國

ならふ　なる

習ふ　幾遍トナク重ネテナラヒ熟スル
コト、フダンニ手ナルコト。○學習○俗習○習（ヘリ）ニ軍旅ニ
肄（ナラ）ふ　藝術ヲ復習スルコト。○肄（ナラ）レ業（ワザ）ヲ
倣ふ　マネヲスルコト。○模倣
なる（ならす）

馴る　鳥獣ノ人ニナレナヅクコト。○馴養○雅馴
狎る　ナレナジムコト。○狎（ルレドモ）而敬（スレ）之（ヲ）○徳盛（ナレバ）不（ニ）狎（レ）侮（ヲ）
褻る　元來膚ニツケタル衣服ノコト、ソレヨリ轉ジテ至極クツロギテ心ヤスクスルコトニ用フ。○褻衣○

見レバ之雖モ褻レタリトモ必ズ變ズメ論語

慣レる　シナルヽコトニテ習ト同義ナリ○慣レ聞クヽ○慣レ看ルヽ○習慣

ノ部

にぐ

北ぐ

敵ニウシロヲ見スルコト○○敗北

脫ぐ

ヌケイヅルコト○○脫兎○脫走

亡ぐ

ノガレサルコト○○亡人○逃亡○逋亡

逃ぐ、遁ぐ

避ケ隱ルルコト○○遁逃○逃去○隱遁

なるにぐ

にくむ　好ノ反對ニシテ、キツクイヤガルコト。○如レ惡ニ惡ムガ惡臭ヲ、如レ好ニ好ムガ好色ヲ大學ニ

惡む　愛ノ反對ニシテ、ツラニク、思フコト。○憎レ惡ニ惡ムガ人之亂ヲ、レ國ヲ誠ニ

憎む　歐子ニ嫉レ而ニ可クシテ嫉ムレ之ヲ、歐子ニ憎レ而ニ可シテ憎ムレ之ヲ

になふ　天秤ニテカツグコト、負フ、負又ハ擔ニ通用ス。○荷レ簑ヲ○荷レ笠ヲ

擔ふ　肩ニカツグコト。○負擔

にはかに

卒然 忽遽ノ貌ナリ、俗ニ「フト」トイフコト。○

暴かに 忽遽ノ貌ナリ、俗ニ「フト」トイフコト。○

遽かに 急ナル貌ナリ。○

俄かに 思ヒガケナキコト。○

にる

似る ソノモノ又ハソノサマニ見ユルコト。○

〇卒然〇忽卒〇卒カニ適ヘメニ

〇敵人ニ亂レテ而失レ行ヲ吳子

〇何トナレバ者恐レルノカニ其暴起而害センコトヲ己ヲ吳子

〇駭遽〇急遽〇驚遽

〇似タリ猫ニ〇屏ケテ氣ヲ似タリニ不

にはかに にる

肖る　○不肖○肖像

にる

煮る　ニエタ、ス　ルコト。○烹煮

烹る　ニトホスコトニテ煮ヨリハ重シ。○烹魚ヲ

ぬ　ノ部

ぬく

抜く　ヒキヌクコト、又カサナリタルモノヲコグチヨリヌキダス意ナリ。○拔羣○選拔○確

平　トシテ不可レ拔ラク

抽く　○抽籤○左ニ旋リ右ニ抽ク

挺く　○挺出○挺身

ぬすむ　盗む　人ノモノヲトルコト。○竊盗

偷む　スキヲネラヒテカスメトルコト。○偷ムレ生ナ○偷ムレ閑ナ○偷安

竊む　人目ニカヽラヌヤウニ物ヲトルコト。○鼠竊

ぬ　ノ　部

妒む、嫉む、娟む　此ノ三字古註ニ婦妒レ夫曰レ妒、夫妒レ婦曰レ娟、害レ賢曰レ嫉トアレドモ互ニ通用ス。

○嫉妒　○娟嫉

妒む　妒ト同義ナリ。　○爵高者人妒之　爵高キ者ハ人ノ妒ムル所ノ子

ねむる

眠る　目ヲトヂテネムルコト。　○臥眠

睡る　キネムリスルコト。　○睡眠

瞑す　目ヲフサグコト。　○瞑目

の　ノ　部

のこす（のこる）

遺す　遺物遺言ノ遺ノ字ニテ義明ラカナリ、又遺ノ字ニ「モレノコル」「物ノ失セタル」「ワスル、」等ノ義アリ。

○遺賢○遺逸○遺民○遺失

貽す　後世子孫ニノコス義ナリ。

○貽厥孫謀（シテ）（ノ）（ナ）、式燕翼子（ヲ）（ニ）（ス）（チ）詩經

のぞむ

○殘餘○殘金

臨む　「ミオロス」義ナリ。

○臨（ム）（レ）淵ニ○臨（ム）（レ）事ニ○臨（ム）（レ）下ニ○臨（ム）（レ）政ニ

のこす　のぞむ

のぞむ　のぶ

莅（ム）む　臨ト略ボ同ジ。○莅（ム）事（ニ）○莅（ム）朝（ニ）

望む　高キヲ見ルコト、又ハ遠キヲ見ルコトヲ云フ、ソレヨリ轉ジテ心ニカクアルベキ筈ト思ヒ、又ハ人ニ見上ゲラルヽコトニモ用フ。○遠望○眺望○望見○仰望○人望のぶ（のばす）　屈ノ反對ニシテ「ヒキノブル」ノ義ニ用フ。○令伸（ブ）○引（キテ）而伸（ル）之（ナ）

延ぶ　○士氣伸（ア）○志欲（ス）伸（ル）（ヒント）○威

延長○蔓延○延引

舒ぶ　○舒（ノブレ）席（ヲ）○眉舒（ブ）○卷舒

展ぶ　○展ブレ巻ナ○展ブレ書ナ○開展○親展○驥足展ナ

のぶ　人ノ言ヲソノマヽニ云フヲモ、又己レノ意思ヲノベアラハスヲモ云フ。○祖述○著述○

述ぶ　編述○講述○敍述

宣ぶ　遍クアラハシヒロムル意ナリ。○宣旨○宣言○王教宣ナ

陳ぶ　モノヲカゾヘタテ、云フコト。○敷陳○陳述○陳情表○明ニ陳ニナ

演ぶ　大義ヲ

のぶ　○演說○講演

のぼる（**のぼす**）

登る　モノ、上ニノボルコト。○登ル山ニ○登ル殿ニ○登ル屋ニ○登ル堂ニ

昇る、升る　此ノ二字ハ同義ナリ、スベテミノボルコト。○日升ル○昇ル

○陞階○陞敍

陞る

○飛騰○奔騰○沸騰

騰る

上る　○上ル道ニ○氣風日ニ上ル

のむ（**のます**）

飲む　ミヅケノ類ヲノムコト。○飲食○飲ル聲ヲ

呑む　何ニテモ丸ノミスルコト。○呑舟ノ魚○併呑

のる（のす）

乗る　元來ハ車ニノルコトナレドモ、凡テ物ノ上ニノリタルコトニ用フ。○乗車○乗馬○乗輿

騎す　馬ニノルコト。○騎兵

駕す　○駕馭○凌駕

はノ部

はかる

計る 物ノ數ヲカゾフルコト、物ノツモリヲ立ツルコト。○計畫○會計○大計

謀る 思慮スルコト、又ハ人ト相談スルコト。○總計○計較○計策○謀慮○奇謀○遠謀○廟謀○參謀○智謀

量る 「マスメ」ノ義ヨリ轉ジテ、廣ク物事ノツモリヲ立ツルコトニ用フ。○量度○商量○不度（ラレ）量（ラレ）力（チ）○度量

測る 水中ヲハカルコトヨリ轉ジテ、物ノ距離ヲ見ツモルコトニ用フ。○測量○測度○推測○窺測（ヒル）

度ル　○料度○計度
圖ル　○雄圖○大圖
はく
吐ク　ロヨリソヽギイダスコト。○呑吐○周公一飯ニ三タビ吐ク哺ヲ史記
嘔ク　幾度モハキツヅクルコト。○嘔吐
噴ク　ロヨリフツフトフキイダスコト。○噴泉○噴ケバ則大ナル者ハ如シ霧ノ莊子
はじめ（はじむ）　○噴ケバ則大ナル者ハ如シ珠ノ

はじめ　はしる

始　主ニ事ノ上ニテ云フ。○始終○始末○王道之始也（孟子）

初　主ニ時ノ上ニテ云フ。○當初○最初○愼ム厥ノ初ヲ一ニ

首　一番ガケノ意。○卷首○首尾

創む　新ニナシハジムルコト。○創業○創設○草創

はしる（わしる）

走る　カケイダスコト、戰場ニテニグルニモ用フ。○奔走○飛走○敗走○棄テ

甲曳（キテ）兵而走（ル）孟子

奔る　ワキメヲフラズニカケイダスコトニテ、走ヨリハ強シ、戰場ニテニグルコト、又ハ國中ヲタチノクコトニモ用フ

○出奔○奔命○可（シ）奔他國ニ

○出奔○奔命○可奔（シ レ）他國（ニ レ ル）

趨る　足バヤニアユムコト○趨走

はづ（はぢ）

恥づ　オノガ心ニ深クトガムルコトニテ、重ク用フル字ナリ。○恥辱○知（ルハ レ）恥（ヂ）近（シ）乎（ニ）

勇（ニ）中庸

辱づ　榮ノ反對ニシテ外聞アシキコト。○榮辱○汗辱○屈辱

愧づ　オノガ心ニトガムルコト。○仰（イア）不（レ）愧（ザ レ）天、俯（シテ）不（レ）愧（ザ レ）人（ニ）

慚づ　此ノ二字ハ愧ト同義ナリ。○慚愧

韓文

はしる　はづ

場ニテニグルコト、又ハ國中ヲタチノクコトニモ用フ。

赧づ、怍づ　ハヂテ赤面スルコト。○二四讀尚不レ能ニ通暁一　茫

然　トシテ增ス慚赧ヲ韓ノ文ニ○不レ怍ヂ

はなはだ

甚だ　「ヒドク」又ハ「キツク」ト譯ス。○甚ダ敗ル○甚シキカナ哉

酷だ　「キツウ」ト譯ス。○酷ダシクキビシキ意ニ用フ。○酷ダス愛スル○酷ダム憐ム○酷ダム好ムレ文ヲ

はやし

早し　晩ノ反對ニテ、オソカラヌコト。○來ルコト早シ○早起

凩し　未明ノ義ニテ、早ト同義ナリ。○凩夜○凩昔○凩緣

捷し　スバヤキコト。○敏捷

捷し　スバヤキコト○　○敏捷

速し　○遅速

はらふ　○掃除

掃ふ　等ニテハクコト○　○洒掃○掃

拂ふ　拂子ニテウチハラフヤウニスルコトニテ、用ヒ所ヒロシ○　○拂之ヲ

攘ふ　○攘夷

はるか　遙か　トホクハナレタサマヲイフ○　○遙々

遐か　遠ノ反對ナリ。○登遐

邈か　○邈々○遙邈

遼か　○遼遠○遼邈

ひ　ノ　部

ひきゐる　ヒキユク　コト。○統率　○率　キヲ　師　ヲ　率　レ　來　ル

率ゐる　矢張リヒキユクコト、又ハヒキタツルコト。○子帥　ホルニ　以　テセメ　正、ヲ　孰　レカ　敢　ヲ

帥ゐる　シカラ　正　レ　論語

ひく

引く　弓ヲヒク義ヨリ轉ジテ廣ク用フ。

刺ス二其ノ一股ヲ史記ニ其ノ引キ行ク義ナリ。

曳く　物ヲヒキズルコト。○曳ク二兵ヲ一而走ル

牽く　獣類ニツナヲツケテ引キ行ク義ナリ。○牽牛

挽く　力ヲコメテヒクコト。○挽ク二弩ヲ一

援く　引キカケテ、コナタヘ引キヨスルコト。○擧ゲ二賢ヲ一援ク二能ヲ一

延く　コナタヘマネクコト。○延ク二客ヲ一

引く　喩ヒ也深切ナリ衍義

引く　而シテ伸ノ之ヲ○引キ而シテ鉏ヲ自ラ

ひくくし　高ノ反對ニテ用ヒ所廣シ。○高低

卑し　高、尊、崇ノ反對ナリ、主ニ位ノヒクキナドニ用フ。○卑近○卑賤

ひそかに

竊かに　「シノビヤカニ」トイフコトニテ、人目ヲヌスム意ナリ。○竊考○竊負

私かに　公ノ反對ニテ「内證デ」ノ意ナリ。○私考○私淑

陰かに　陽ノ反對ニテ、カゲニテスル意アリ。○陰行○其私ヲ

潜かに　水ニヒソムトイフ字ナレバ深隠ノ二義ヲ兼ヌ。○潜龍○潜伏

而逃ル

ひとし　均し　等し　斉し　ひとへに　単に　偏に

均シ　モノヽ、マサリオトリナク等分ナルコト。○均衡　○均一　○平均　○晝夜

等シ　元來「シナ」ト讀ミテ段ノコトナリ、ソレヨリ轉ジテ同ジト云フ意アリ。○平等

斉シ

ひとへに　○齊一

ひとしひとへに

ひとしひとへに　「フタヘ」ニ對シ相重ナラヌコト、故ニ薄キ意アリ。○單衣　○單身　○單騎

單に　一偏ナルコトナリ、故ニカタイヂナル意トナリテ、一方ニバカリ向キタルコトヲ云フ。　○偏倚

偏に

潜かに　水ニヒソムトイフ字ナレバ深隠ノ二義ヲ兼ヌ。　○潜龍　○潜伏

ひま　偏僻○偏頗○偏言

隙　物ノスキマノコト、又ソレヨリ轉ジテ人ノ交リノ睦シカラヌコトニ用フ。○若レ白駒之過ギルカ

閒　隙ヲ史記○與ニ沛公一有レ隙ヲ史記

釁　イソガシカラヌコト。○閒暇○閒散

ひろむ　物ノワレメノコト、ソレヨリ轉ジテ人ノ交リノ睦シカラヌコトニ用フ。○人無レクレバ釁、則、妖、

廣し　狹ノ反對ニテ限リナクヒロキコト。○廣大○廣闊

博し　ハバノヒロキコト。○博聞○博愛○博學

弘し　廣大ノ義ナリ、功德事業ノ上ニ用フ。○道能弘レ人ヲ

汎し　深入リヲセズニヒロキコト。○汎言○汎愛シテ衆ヲ而親ム仁ニ

寛し　○寛仁大度○寛大

闊し　○潮平ニシテ兩岸闊シ、

ふくむ　ふ　ノ　部

含む　本義ハ口ニクヽミテヲルコト　○含蓄
銜む　ナレドモ、其用方ヒロシ。　ロニクハフ　○銜枚ナ　○鳥銜花ナ
ふす
臥す　横ニナルコト。　○起臥
伏す　面ヲ地ニツケテフシカヾムコト、又見エヌヤウニスルコト。　○起伏　○伏兵
俯す　仰ノ反對ニテ、カウベヲサグルコト。　○俯仰
ふせぐ　カネテ用心スルコト　○國防　○防禦　○豫防　○人主ヘ當ヘシ防ニ

未萌之欲ヲ大學ノ衍義ニ

禦ぐ　サシアタリテフセグコト。○兄弟鬩ヶ牆ニ外禦ダニ其侮ヲ詩經ニ

拒ぐ　ヨセツケヌコト。○拒絶

ふむ

蹈む、踏む　二字共ニフムコト、又足拍子ヲフムコト。○舞蹈○蹴踏

履む　フミテアルクコト。○履ムレ霜ヲ

踐む　○履行○履歴

ふるふ　○實踐躬行

ふせぐ　ふむ

揮ふ　物ヲ手ニモチテフルコト。○揮レ筆ヲ○揮レ戈ヲ○揮毫

振ふ　○振レ衣ヲ○振レ威ヲ○振作○振動○振怖

奮ふ　○奮起○奮然○奮發

へ　ノ　部

へだつ（へだゝる）

隔つ　間ニ物ヲ入ルヽコト、又ヘダタルコト。○間隔○隔レ山ヲ

隔離○隔レ窓ヲ○防ニ隔ツ内外ヲ○隔絶

○隔レ壁ヲ○

阻つ　山川道路ノヘダタル義ヨリ轉ジテ、セキトムル意ニ用フ。○阻レ諫ヲ

○阻ニ賢者ヲ

へつらふ　路ニ（ナ）

詔ふ　人ノ氣ニ入ラントテ心ニモナキコトヲ云フコト。

訣ふ　詔ト同義ナリ。

〇面諛

佞ふ　人ノ氣ヲ知リテ、ウマクイヒマハスコト。

ほ　ノ　部

〇佞者

ほこる　言語ノ上ニテ自慢スルコト。

〇詩稱

詩ふる

〇詔諛〇貧タシテ而無シテ詔レフコト

へつらふ　ほこる

矜る　高ブルコト。○矜伐

ほしいまゝに

恣に　氣マヽ、ナルコト。○放恣○縱恣○驕恣

擅に　一人ニテ事ヲ執リ行フコト。○擅（ニス）國（ヲナ）○擅（ニス）名（ヲナ）○擅（ニス）譽（ヲナ）

放に　ヤリバナシノコトナリ、シマリナク推シ放ツ意アルガ故ニ、禮法制度ヲ守ラヌコトニ用フ。○放逸○放言○豪放○曠放

縱に　○放縱○豪縱○縱恣○縱逸

肆に　○放肆

ほとんど

殆ど「イマスコシニテ」トイフ意ニテ、事ノセマリクル辭ナリ、十中ノ八九分迄近ヨリタル義アリ。

幾ど「スデノコトニ」ト云フホドノ辭ナリ。

於虎口ヲ

ほとり

邊物ノマハリフチヲ云フ、ソレヨリ轉ジテ國ハヅレノコトニモ用フ。

畔元來田界ノ義ヨリ轉ジテ、邊ノ字ノ意ニ用フ。

青々タル河畔ノ草

ほとんど　ほとり

降シナヽ疾ヽナ殆ド不レ興キ

不レ悟ラ經書

役徒幾ド盡ク傳左

我幾ド不レ脱ニセ

今天

側　カタワキナリ。○君側○邊側

瀕　水邊ナリ。○水瀕

ほゞ

略　大概ヲイフ辭ニテ「アラ〳〵」ノ義ナリ。○略相（ヒ）反覆（ス）

粗　「アラ〳〵」ノ義ニテ、細カニ推シ尋（ネ）ザル意アリ。○粗陳（ベン）ニ其略（ヲ）一

ほむ

褒　賞○寵褒

貶　ノ反對ナリ、言葉ニテホムルコト、又人中ニテホメテ名ノ聞ユル樣ニスルコト。○褒貶○褒

譽む　毀ノ反對ナリ、ヨキ事ヲイヒアラハシテホメタツルコト。○毀譽○名譽○聲譽

賞む　罰ノ反對ニテ、物ヲ褒美ニヤリ又人ヲ引キタツル意ヲ兼ヌ。　○賞翫○鑒賞○賞贊

ほろぶ　有ルモノ、ナクナルコト。○亡ビ身ヲ○存亡○死亡○亡失

亡ぶ　火ノ消ユルコト、ソレヨリ轉ジテ廣ク用フ。○滅亡○滅却○廢滅○泯滅

滅ぶ

ま　ノ　部

まうす（まをす）

申す　事ノワケガラノヨクワカルヤウニノベツグル義ナリ。○上申

白す　アカラサマニノベツグルコト。○啓白○敬白

啓す　口ヲ開キテ申シ述ブル意ヨリ、言上スル義トナルナリ、又皇族ニ申シ上グルコト。

奏す　臣下ヨリ天子ニ申シ上グルコト。○奏聞

稟す　○稟申

まことに（まことに）

眞　偽ノ反對ニシテ少シモツクロハヌコト。○眞實○眞誠○天眞○眞理

誠　心ノマコトナリ。○至誠○誠實

信○信義

實虛ノ反對ナリ。○信實

まさに

正に ワキヘユガマズ丁度マムキナルコト。○

之勢正ニ是レ也韓非子

當に「アタリマヘニカウナクテハナラヌハズヂヤ」ト云々ノ如クニ二度カヘリテ讀ム。○義ナリ、漢文ニテハ當ニ云々スベシ「オツツケ」「ヤガテ」ノ意ナリ。

將に 既ノ反對ナリ、

鐸ト論ス語ヨ

○輔ヘ依レ車ニ、車セ亦依ルレ輔ニ、虞號

○天マサニ將ス下ニ以テ夫子ヲ爲ス一ニ木ヲ

誠トナリ。○至誠○誠實

方ニ　○方ニ生キ方ニ死ス

ますく

益ス　アルガウヘニ　○滋益○家益ス貧シ

ソフルコト。

増ス　増シ加フルコト。○感深ク　益ス懼レ、喜極テ　増ス悲シム

滋ス　フユルコト。○天休滋ク至ル　○弟子之惑滋ク甚シ

また

「ソノウヘマタ」「ソノホカマタ」ノ義ナリ。○又問フ

「モマタ」ノ義ナリ。○舉ニ大事ヲ亦死ス

記史

復（タ）

まつ（ニ）

待つ（レ）

俟つ（ツ）

全し、完し

まつたし

まつ（ニ）

待（レ）ハ人（ヲ）待（チ）ツ意ニテ、待（チ）ツ器（ノ）於身（ニ）、待（チ）ツ時（ニ）而動（ク）易經

俟（ツ）ハ後（ニ）之君子（ヲ）大學序

全（マツタシ）ハ缺（ケ）ルコトナク、具（ハ）ルコトナリ、此ノ二字ハ義少シ異ナリ、全ハノコルトコロナキヲ云フ、完ハ一ツノモノニテ多クノ上ニテ云フ、故ニ大全トモ大完トモ云ヘドモ全固トハ云ハズ、完固トハ云ヘドモ全固トハ云ハズ。

○復（タ）ハ一日（ニ）ノ義ナリ。○擧（ゲ）ハ事（ヲ）ノ義ナリ。○水死（ノ）記（ス）

「フタヽビマタ」ノ義ニシテ、反復重複ノ意ヲ含メリ。○日復（タ）一日（ニ）

○待（レ）ツ人（ヲ）ハ待遇（シ）○接待（シ）○君子（ヘ）藏（シ）（ニ）ス

○俟（ツ）ハ後（ニ）之君子（ヲ）ハ大學（ノ）序（ニ）

○待（レ）ツハ自然（ニ）ソコヘ來（ル）モノガマデマツコト。○俟（ツ）ハ人（ヲ）ニ待（タ）ツコトニテ、コナタニクルヲマツコト。○待（レ）ツ器（ヲ）於身（ニ）、待（チ）ツ時（ヲ）而動（ク）易經

まつる　全體○瓦全○完了○完美○完璧

祭る　マツルコトニ廣ク用フル字ナリ。○祭祀○祭ニハ思フ敬ヲ論語

祀る　定マリタル大事、ハ在リ祀ト與ニ戎ヲ左傳

まもる

守る　ミハルコト。○守備○不レ失ハ守リテ

護る　大切ニスルコト。○保護○擁護○守護

衛る　トリマクコト。○守衛○衛戍

まれ

稀　マバラナルコト、少キコト。○月明カニ星稀ナリ

罕　「タマニ」ノ義ナリ。○子罕ニ言フ利ナシ論語

○み　ノ　部

みだりに

妄　「カリソメニ」「カロシク」ノ意ナリ。○妄作○妄語

猥　「ムザト」ニ「メ」ツタニ」ナド訳シテ見ルベシ。○猥ニ自ラ枉屈スル

○煩猥○猥雑

濫りに「ワケナクニ」「存ジヨラズ」「マギルヽ」「又ハ「ムヤミニ」等ノ義ト心得ベシ。」○濫用○濫刑○不レ得ニ濫採一ルヲ

みち

道　人ノ往來スル所ナリ、ソレヨリ轉ジテ、人ノ行フベキ義ニ用フルコトアリ。○道徳○道理

路　街道筋ナリ、ソレヨリ轉ジテ、人ノ世ワタリヲ世路ト云フ、路ハ道ニ比シテ、小サキミチヲ云フ。○路傍○遍路○行路

途　ノコト、ヨリカシコマデミチスヂヲ云フ。○長途○半途

みつ

滿つ　缺ノ反對ニシテ、一パイニナルコト。

盈つ　縮又ハ虧ノ反對ニシテ、滿ト同義ナリ、但シオヒ〳〵ニミチユク意ナリ。

○持滿○滿足○滿招レ損、謙ヘ受レ益ヲ書經

○盈縮○盈虛消息易經

天道ノ盈虛ハ、スコ〳〵ハシ〳〵マデ實ノ入リワタル意ナリ。

○充滿○充實○充實つ　スコ〳〵ハシ〳〵マデ實ノ入リワタル意ナリ。

○倉廩實ツ○避レ實ヲ攻レ虛ヲ

數ニ

員備フ

みづから　みな

自ら「ジシンニ」ノ意ニテ、人ノサシヅヲマタズ、我ガ手ニテスルコトニイフ。○実践躬行　○躬（ラ）蓋實傳

親ら○親（ラ）被（リ）堅（ナ）執（ル）銳（ヲ）孟子

皆、咸此ノ二字ハ、ホヾ同義ナリ、「ノコラズ」「コトゴトク」「一ニ同ニ」ノ義ナリ。○天下咸（ミナ）服（ス）○皆使（ム）諸吏（ナシテ）帶（メ）劍（ヲ）張丞相傳

○自作○自省

其（ノ）飲食居處（ヲ）

視（ル）ニ其（ノ）

行（シ）士卒（ヲ）、（ナ）

見る　目ニカヽルコト、ミツクルコト。○見聞　○人之視レルコトヲ　○見レルカ如ク　已ニ

視る　其ノ肺肝ヲ然リ大學　○視察　○視聽　○視力　○熟視

視レル事ヲ　ミント思ヒテ、心ヲトメテミルコト。

看る　視ノ字ニ近シ、久シクミツムル意アリ。○看病　○看護

觀る　心ヲトメテクハシクミルコト、又見物スルコト。○觀レル物ヲ　○觀覽　○參觀

覽る　ヒトトホリ目ヲトホスコト。○一覽　○天覽　○博覽　○游覽

むかふ　むく

む　ノ　部

むかふ　背ノ反對ニテ目アテノ方ヘマムキニウチムカフコト。

向ふ　迎ふ　送ノ反對ニテ、物ニサキダチテ動クコト、サキヨリ來ルニサキダチテ、コナタヨリ出デムカフルコト。○南ニ向テ而立ッ

迎ふ　コナタヨリ待チマウケテ出デムカフルコト。○歡迎

むくゆ

報ゆ　恩怨共ニカヘシムクユルコト。○以レ直報レ怨、以レ德報レ德　語論

遨ふ　○遨レ鴛　○擧レ杯遨レ明レ月

むくゆ　むすぶ　むなし

酬ゆ　元來主人ヨリ客ヘ返杯スルコト。○報酬　獻酬　貴酬

むすぶ　物ノハシトハシトヲツナギアハスルコト、結ぶ　コレヨリ轉ジテ解ケヌ義トナルナリ。○結婚

締ぶ　カタクムスブコト。○條約締結　○合從（シテ）締（ブ）レ交（ヲ）

むなし　空し　有ノ反對ナリ、無モ有ノ反對ナレドモ無ハナキナリ、空ハ中ニ全ク物ナキナリ、故ニ「カラ」ノ義ナリ。○

空手　○空拳　○引（キテ）レ軍（ヲ）空（シノ）還（ル）

虛し　實ノ反對ナリ、中ノスキテ一パイニツマラザルコト。○虛實　○虛僞　○虛詐　○

空虚

曠し（シクス）○曠日（ナ）○曠野

め　ノ　部

めぐる（めぐらす）

巡る　行視ナリ。○巡守○巡回○逡巡○巡察

繞る　モノ、マハリヲマハルコト。○纏繞○圍繞

旋る　○旋風○周旋

周る　○一周

環ル○環視○環堵

もつとも○最初○最上○最後

最も　衆ノ中ニテ其ノ第一ナルヲ云フ。○目立ツ意アリ、故ニ「コトニ」トモ「ハナハダ」トモ訓ズ、最ノ字ハ物ニカヽリ、尤ノ字ハ事ニカヽル。○尤も

もと○本

めぐる　もつとも　もと

末ノ反對ナリ。○本末○本根○本意○君子務本（ムレ）

語論

元　首始ノ義ニテ、物事ノハジマリナリ。○元日○元旦○元年

原　源ニサカノボリテ其始ヲ尋ヌル意ナリ。○根原○本原○原料○原稿

素　「シタヂ」「ダドイ」ナドイフ意ナリ。○平素○陳嬰（ヘ）素（ヨリ）信謹（ナリ）史記

固　勿論トイフ意ニ用フ。○固（ヨリ）聞（ク）之（レテ）○君子固（ヨリ）窮、小人窮（スレバ）斯濫（ル）矣　論語

もとむ

求む　サグリモトムル意ニモ、コヒモトムル意ニモ、タヅネモトムル意ニモ用フ。○請求○購求

○同氣相求（ム）

索む　タヅネモトムルコト。○探索○捜索

需む　ナクテナラヌモノヲマチモトムルコト。○需要○軍需

要む

○要求

もとる

戻る　和ノ反對ニシテネヂマガルコト。○乖戻○反戻○詭戻○違戻

悖る　ツヨクウラハラニナリサカフコト。○悖戻○悖逆

悁る　○悁（モトル）諫（ニ）○剛悁○悁復不遜

狠る

○狠戻

もの　物　者

上文ノ事柄ヲ承ケテ云フコト多シ。○前者○後者

形體ノアルモノヲ云フ。○物品○事物○萬物○物體

や　ノ部

やしなふ

モノヽオヒタチテユク樣ニスルコト。○養育○養蠶○培養○養生

養ふ

野ガヒニスルコト。○牧場

牧ふ

畜ふ

○牧畜

育（ソダ）つ　やすし　安し　危し　忘（ワスレ）レ　危（キコトナ）レ

○育兒○訓育○教育

危ノ反對ニテアブナクオチツキタル意ナリ。○安穩○安置○安

易し　寧し　康し　泰し

難ノ反對ニテシヨキコト。○平易○容易

○安寧

○康寧○安康

○安泰

やしなふ　やすし

やどる

宿る　逗留スルコト、又單ニ止宿スルコトニモ用フ。○止（メテ）ニ子路（ナ）一而宿（ラシム）

論語

舍る　市屋ノ義ヨリ轉ジテ止宿ノ意ニ用フ。○舍館未（メ）レ定（マ）

やはらぐ（やはらか）

和ぐ　ヤハラカナルコト、又ヤハラグ樣ニスルコト。○和合○和順○調和○和陰陽和（ス）

同○中和○溫和○陰陽和

柔らか　剛ノ反對ナリ、人ノ性德氣質ニ用フ。○柔順○柔（メ）レ遠（ヲ）○柔弱○柔

やぶる　軟
破る　「ワルコト」「ツブルコト」「クダクコト」ナドヲ云フ。○破（ワル）竹ノ勢○卵破○破屋○看破○說破○讀破
敗る　成又ハ勝ノ反對ナリ。○敗軍○戰敗○大敗
やまひ
疾　病　○其疾不レ瘳ヱ
疾ト殆ド同義ナレドモ、「疾、病ナリ」ト云フトキハ、疾ノ重クナルヲ云フ。○病氣○疾病○子、

疫痼疾病（ナリ）子路請フ禱（ラントノ）レ　論語

流行病ナリ。○時疫

持病ナリ。○痼疾

やゝ

稍　較

小ナリ、漸ナリ、「チト」又ハ「チトヅヽ」ト譯シテ見ルベシ。○孝昭嚴稍鑒食（ス）史記

クラベテ見レバノ義ナリ。○春寒花較遲（シ）

ゆく

ゆ　ノ　部

行く　行ハ止ノ反對ナリ、而シテ走歩往來ヲ兼ネ其用方ヒロシ。○行人○行旅○進行

往く　來ノ字又ハ還、反、復、等ノ字ト對ス、行ノ字ハアユヱ、ユクモカヘルモ皆行ナリ、往ノ字ノサキヘユクバカリナリ。○往來○往昔○往年○往歳

逝く　署ポ往ト同義ナリ。○逝去

ゆづる

譲る　我ガ身ヲ後ニシテ人ヲ先ニスルコト。○辞譲○禮譲

禪る　天子ノ位ヲユヅリワタスコト。○禪位○受禪

ゆるし（ゆるやか）

緩し　急ノ反對ニシテ、繩絲ナドノヒキハラヌコトニモ用ヒ、又緩ナリ

寛し　モノヽヒロクシテクツロギノアルコト、故ニ性上ニテイヒ、又度量ノヒロクシテ物ヲ受ケ容ルヽコトヲイフ。○緩歩　○舒緩　○遅緩　○寛猛　○寛大

ゆるす

赦す　罪過ヲユルスコト。○大赦

許す　ソレニテヨシトユルスコト。○免許　○許諾

允　マコトニヨシトミトムルコトの○允許ス　元來「マヌカル」ト訓ズル字ナレバ「ユルス」ト訓ズルトキニモマヌカレシムル意ナリ。○免税○免役○免ス之レヲ○免状○

宥　見ノガスコト。○宥免

よ

よ　ノ　部

世　ハジメヨリヲハリマデノ時世ニ就キテイフ。○周、世○世次○二十世紀○第五世

代 イリカハリニナルコト、易レ代改レ號ト云フガ如シ、サレドモ漢代、唐代ナド、書キテ、世ノ字ト同義ニ用フルコトアリ。

○時代

よく

能く ワザヲヨクスルコト、ナシウルコトヲイフ。

有行（ラセコト）焉孟子

克く 能ト同義ナレドモ強シ。○克〃明ニス俊徳ヲ大學ニ

善く 「多ク」ト云フ意、又ハ「上手」ト云フ意ニテ用ヒラル、モノナリ。○善〃懐フ○善〃絲竹ヲ

○善ニクス書畫ヲ

よし

善し　惡ノ反對ニテ道理ノ○善惡○友（トシ）善（シ）○相（ヒ）善（シ）ウヘニテイフコト。

好し　醜ノ反義ニテ、形ノ○美且（ッ）好○妍好ウルハシキコト。

佳し　其義大抵好ノ字ト同ジ、但シ佳氣、佳境ナドニハ、好ノ字ヲ用ヒズ。○佳辰○佳人

良し　凡テスグレタルコトヲ云フ。○賢良○才良○溫良○良夜

よぶ

呼ぶ　聲ヲタテ、人ヲマネクコト、又ワメクコトニモ用フ。○號呼○喧呼○呼聲

動（カス）天地（ヲ）

喚ぶ　呼ト同義ナリ。○喚聲

よる

因る　モトダテニスルコト、手ガカリニスルコト。○因緣○原因

由る　元來物ヲトラヘテ、シガミツキテハナサヌ意ナリ。○由リテ是ニ觀レバ之ヲ見レ

據る　依ル處ナキ也。○本據○據ル城ニ

要害之地ニ○據リテ鞍ニ顧ル　史記

依る　ツキソヒハナレズタガハヌコト、納ホ衣ノ人身ニツキソヒタルガゴトキヲ云フ。○依ル人ニ

賴

賴ル　タノミトシテヨルコト。○賴ル此篇之存スルニ一

憑ル　モタレカカルコト。○憑ル凡ニ○憑ル欄ニ一

よろこぶ

喜ぶ　悲、憂ノ反對ニテウレシク思フコト。○喜憂○喜怒哀樂○悲喜交ヽ至ル

悦ぶ　中心ニヨロコブコト。○悦樂○悦色○悦服○不ヤニ亦悦スシカラ一

怡ぶ　外ヨリウレシク見ユルコト。○怡然○怡怡

語論

よろこぶる　よろこぶ

欣ぶ○欣然○欣々

歡ぶ○歡樂○憂歡○歡喜

わ ノ 部

わかる（わかつ）

分る　合ノ反對ニテ、物ノハナル、コト、又物ヲヒキハナスコト。○分合○分析○分ッ

別ル（サ）○分離○分袂

物ノハナル、コト、物ヲシワクルコト。○差別○辨別○判別○區別

惜ム（レ）別（チ）

訣ス　人ニワカル、コト、又死ニ別ル、コト。○訣別○永訣

わく　水ノ地下ヨリアフレ出ヅルコト。○涌出

沸く　湯ノワキカヘル義ヨリ轉ジテ水ノサカマクコトニ用フ。○沸騰

わざはひ　禍ノ反對ニテ思ヒ設ケヌ不幸ノコト。○禍福○禍ハ者福之所ナリレ伏ス淮南子

殃　神ノトガメヲウクルコト。○百殃○天殃○疾殃○積不善之家ニハ

必ズ有ニ餘殃一　易經

災　天地ノナセルワザハヒ。○天災流行ス　○災難

わする　心ニオボエヌコト。○忘却　○忘失

忘る

遺る　心ニトリオトス意ナリ。○遺忘

わたる

渡る　海ニテモ川ニテモ大小ニヨラズ水ヲワタルコト。○渡頭　○渡口　○渡ニ入ル

亡ニ維ス一　漢書

江河ヲ

濟ル　サキマデトバク意アリ、又トバカスル意アリ、渡ノ字ヨリハ狹シ、大海ナドヲワタルニハ多ク用ヒズ。○濟（ニ）

互ル　水ヲワタルコトニハアラズ、モノ、コ、ヨリカシコマデ行キトドキタルコト。○連互

渉ル　カチワタリヲスルコト。○渉（ル）ニ暴（一）易水（ナ）

彌ル　○博渉○渉獵○跋渉

わづかに

僅かに、纔かに「チットバカリ」ト譯スレバ善シ、漸ク追付ク意ニ用フ、故ニ「ヤットト」ト譯スルモ善シ。

僅々○僅少○纔（カニ）可（シ）○一面僅（カニ）有（リ）路、纔（カニ）通（ス）ニ

わづかなる　わづかに

わらふ　一人（ヲ）皇朝一通紀

笑ふ　ヲカシキ事アリテ閉ヂタル口ヲ開クコト。又花ノサクコトヲ花笑フト云フ。○冷笑○失笑

哂ふ　ニツトワラヒテ歯ヲアラハス　○夫子哂（フ）レ之（ヲ）

嗤ふ　アザケリワラフコト。○詆嗤○嘲嗤

われ

我　彼ニ對スル字ナリ。○彼（ヘ）以（シテ）（ニ）甘其富、（ナ）我（ハ）以（ニ）吾（ガ）仁（ヲ）（ニ）子孟子（ニ）

吾　我ノ字ハ人ニ對シ、吾ノ字ハ獨リニテイフナリ。○吾子○不（レ）欲（セ）（ミ）人之加（ヘンコトヲ）（ニ）

予、諸我ニ也、吾モ亦欲ス無ラントコトヲ加フルコトニ諸ヲ人ニ論ニ語ニ

脵 天皇ノ自稱ナリ。

余 此ノ二字ハ自稱ノ辭ナリ。○余輩

部

犯ス境ヲ○犯ス法ヲ

侵ス略

をかす（おかす）

犯ス 無遠慮ニナスコト。○犯ス境ヲ○犯ス法ヲ

侵ス 人知レズイツトナク漸次ノリコムコト。○侵略

冒ス 〇冒ス姓ヲ

われ をかす

をかす　をさむ　をしふ

をさむ（をさまる）

治むオチツカスルコト。○治ムレ人ヲ○平治○治亂

收むトリアグルコト、トリマトムルコト、シマヒオクコト。○收斂○收入○收穫

修むアシキトコロヲオヒ〳〵ニツクロヒナホスコト。○修繕○修身

理むスヂミチヲ立ツルコト。○政平カニ訟理マル

をしふ

教ふ言葉ニテ教フルコトニモ、方法ヲ設ケテヲシフルコトニモ用フ。○教育○教導○教

訓ふ、誨ふ　此ノ二字ハ大抵教ト同ジト雖モ、訓誨ノ方ハ専ラ言葉ノ上ニテヲシフルコトナリ。

訓○訓誨○教誨○誨（ヘテ）人（チ）不（レ）倦（マ）論語

をしむ

吝む　シハキコト。○吝惜○吝嗇

嗇む　物ヲ妄リニ用ヒヌコト。○貴（ブ）嗇（チ）

惜む　オロソカニ思ハヌコト、ノコリ多キ意ニモ用フ。○愛惜○可（シ）惜（ム）レ

をはる（をふ）

終る　初ノ反對ナリ。○終身○終世○終日○終始

をしふ　をしむ

をはる　をる

了る（スムコト。）○閲了○讀了

畢る　○卒業

卒る　○畢生

をる

居る（「シマフ」ノ義ナリ。）○卒（フ）レ事（チ）

處る　スワリテアルコト、安ンズル意アリ。○平居○居常○居然

處る　居ハ起ト對シ、處ハ去、又出ト對ス、身ヲスヱオクコト、事ヲシマツスルコト。○出處○處置○處分○處（ス）レ事（チ）

をる

折る　物ヲオシカドメテ中（ナカ）ヨリ二ツニ分クルコト。○曲折○九折○折中

拉る　ヲレニクキモノヲヲルコト。○拉（リ）脅（ヲ）折（ル）歯（ヲ）史記

拗る　ネヂヲルコト。○拗強○拗戻○執拗○拗（リ）矢（ヲ）折（ル）矛（ヲ）

漢字用例

終